

都立新宿高等学校 令和6年度(2024年度) シラバス

教科:	国語		科目名:	文学国語		講座名:	文学国語	
年次:	2年次	単位数:	2	区分:	必修	形態:	クラス単位	
使用教科書・補助教材:	文学国語(筑摩書房)、新国語便覧(第一学習社)、読解を深める現代文単語評論・小説改訂版(桐原書店)、上級入試漢字(桐原書店)、ちくま評論選二訂版(筑摩書房)、長文記述問題集3(いいずな書店)							
教科担当者:	佐藤藍、春田和彦、久間竜太郎、細谷敦仁							

科目(講座)の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができる。	共感する力や想像する力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりを通じて伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

日常の学習方法

①教科書「学習の手引き」「漢字と語彙」を予習し、疑問点の拾い出し等を行う。 ②授業では、予習でわからなかった部分を中心に表現形態に応じた読解の方法を学びつつ、疑問点を解決する。 ③授業で学んだ事項の整理をして定着を図る。 ④小テスト等で漢字や語句の知識を継続的に増やしていく。 ⑤問題集等の副教材で発展的な学習を行う。

履修上の注意(発展科目との関連)

必修科目であり、3年次と併せて4単位を履修する。すべての科目の基礎となり、現代を生きる上で必要となる力を身につける科目である。授業内容に関しては、生徒の実態に応じて変更することができる。

年間授業計画

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	「山月記」(中島敦)	【知識及び技能】 語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文について考え、他者と共有すること 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができ	場面の展開や登場人物の心情に留意した小説の基本的な読解	【知識・技能】 語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 本文について考え、他者と共有している 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	8	
	「情報の彫刻」(原研哉)	【知識及び技能】 語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文について考え、他者と共有すること 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができ	論の展開に留意した評論の基本的な読解 要約の基本の確認	【知識・技能】 語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 本文について考え、他者と共有している 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	6	
	中間考査								
	「実態の美と状況の美」(高階秀爾)	【知識及び技能】 語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文について考え、他者と共有すること 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができ	論の展開に留意した評論の読解 基本的な芸術論の理解	【知識・技能】 語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 本文について考え、他者と共有している 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	6	
	「死者の声を運ぶ小舟」(小川洋子)	【知識及び技能】 語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文について考え、他者と共有すること 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができ	的確な随筆の読解と論理的な解釈	【知識・技能】 語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 本文について考え、他者と共有している 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	6	
期末考査									
					1学期配当時間計			26	
2 学期	「ころも」(夏目漱石)	【知識及び技能】 語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文について考え、他者と共有すること 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができ	的確な小説の読解と論理的な解釈	【知識・技能】 語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 本文について考え、他者と共有している 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	14	
	中間考査								
	「メディアと倫理」(和田伸一郎)	【知識及び技能】 語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文について考え、他者と共有すること 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができ	論の展開に留意した評論の読解 基本的なメディア論の理解。	【知識・技能】 語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 本文について考え、他者と共有している 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	8	
	「記号論と生のリアリティ」(立川健二)	【知識及び技能】 語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文について考え、他者と共有すること 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができ	論の展開に留意した評論の読解 基本的な記号論の理解	【知識・技能】 語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 本文について考え、他者と共有している 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	8	
期末考査									
					2学期配当時間計			30	

3 学 期	詩「永訣の朝」(宮澤賢治)	【知識及び技能】 語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文について考え、他者と共有すること 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができ	詩の鑑賞	【知識・技能】 語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 本文について考え、他者と共有している 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	6	
	『『である』ことと『する』こと』(丸山眞男)	【知識及び技能】 語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文について考え、他者と共有すること 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができ	論の展開に留意した評論の読解 基本的な思想論の理解	【知識・技能】 語彙を豊かにしている。 【思考・判断・表現】 本文について考え、他者と共有している 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	8	
学年末考査									
								3学期配当時間計	14
								年間配当時間計	70

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等
	評論 小説 随想 (外部模試を利用)		夏季休業期間中 宿題範囲	評論 小説 随想 (外部模試を利用)		冬季休業期間中 宿題範囲	評論 小説 随想 (外部模試を利用)

都立新宿高等学校 令和6年度(2024年度) シラバス

教科:	国語		科目名:	古典探究		講座名:	古典探究	
年次:	2年次	単位数:	3	区分:	必修	形態:	習熟度別	
使用教科書・補助教材:	精選古典探究古文編(三省堂)、精選古典探究漢文編(三省堂)、体系古典文法(数研出版)、必携明説漢文(尚文出版)、古文単語330(いづみ書店)、鎌成古典(尚文出版)、敬語マスターノート・まぎらわしい語の識別マスターノート・漢文句法マスターノート(数研出版)、和歌(桐原書店)							
教科担当者:	石井明子、小林惇、野中裕、春田和彦、久間竜太郎、細谷敦仁							

科目(講座)の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通して先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

日常の学習方法

①「学習の手引き」 「語句と表現」を予習し、語句調べ、現代語訳等を行う。 ②授業では予習でわからなかった部分を中心に、新たな知識を得るとともに、知識の正しい活用方法を学ぶ。 ③復習として授業で学んだ事項を整理して定着を図る。 ④小テスト等で古文単語の知識を継続的に増やしていく。 ⑤問題集等の副教材で発展的な学習を行う。
--

履修上の注意(発展科目との関連)

必修科目であり、1年次で履修した「言語文化」を発展させた科目である。1年次で学んだ基礎的な事項の上にさらに発展的な学習を行い、古典の世界を味わえるようにする。

年間授業計画

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	古文Ⅰ	【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができ	『枕草子』 「中納言参り給ひて」 「雪のいと高う降りたるを」 指導項目:助動詞の完成、助詞の復習、敬語法の習熟	【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	11	
	漢文Ⅰ	【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができ	故事成語「画竜点睛」「病人膏肓」 指導項目:1年次の復習(基本的な句法、語法)	【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	8	
	中間考査								
	古文Ⅱ	【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができ	『更級日記』 「あこがれ」 「源氏の五十余巻」 指導項目:助動詞の完成、助詞のまとめ	【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	12	
	漢文Ⅱ	【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができ	『史記』 「鴻門之会」 指導項目:発展的な句法・語法	【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	8	
1学期配当時間計									39
2 学期	古文Ⅲ	【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができ	『大鏡』 「雲林院の菩提講」 「花山天皇の出家」 指導項目:敬語・助詞の完成	【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	12	
	漢文Ⅲ	【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができ	思想(老子、荘子) 『史記』 「四面楚歌」「項王最期」 指導項目:句法・語法の総まとめ、文学史のまとめ	【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	9	
	中間考査								
	古文Ⅳ	【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができ	『大鏡』 「弓争ひ」 『源氏物語』 「光源氏の誕生」 指導項目:敬語・助詞の完成	【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	14	
	漢文Ⅳ	【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができ	文章「漁父辞」 『孟子』 「不忍人之心」 指導項目:やや発展的な句法、語法	【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	10	
2学期配当時間計									45

3 学 期	古文Ⅴ	【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができ	『源氏物語』 「藤壺の入内」 「北山の垣間見」 指導項目：古典文法の総まとめ	【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解してい 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	12	
	漢文Ⅴ	【知識及び技能】 指導項目を正しく理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を的確に理解できる。 【学びに向かう力、人間性等】 授業に積極的に取り組むことができ	『荀子』「人之性悪」 『老子』「無用之用」 『莊子』「渾沌」 指導項目：句法・語法の総まとめ、文 学史のまとめ	【知識・技能】 指導項目を正しく理解している。 【思考・判断・表現】 本文を口語訳し、内容を理解してい 【主体的に学習に取り組む態度】 授業に積極的に取り組んでいる。	○	○	○	9	
学年末考査									
								3学期配当時間計	21
								年間配当時間計	105

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等
春季休業中課題	古文 漢文	指名講習 難関大基礎講座 (希望者)	夏季休業中課題	古文 漢文		冬季休業中課題	古文 漢文

都立新宿高等学校 令和6年度(2024年度) シラバス

教科:	地理歴史		科目名:	日本史探究		講座名:	日本史探究	
年次:	2年次	単位数:	2	区分:	必修	形態:	クラス単位	
使用教科書・補助教材:	使用教科書:『日本史探究 詳説日本史』/山川出版社・補助教材:『最新日本史図表』/第一学習社・『ウィニングコンパス日本史の整理と演習2024』/東京法令出版社							
教科担当者:	谷口 靖							

科目(講座)の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につけるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

日常の学習方法

教科書と副教材・授業プリントを活用し、必要な知識を予習・復習しておく。授業中の共同的な探究活動も積極的に取り組むこと。

履修上の注意(発展科目との関連)

3年次に日本史を選択する生徒にとって、2年次に学ぶ内容は3年次で繰り返すことができない範囲となることを念頭に受講すること。

年間授業計画

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	日本文化の あけぼの	【知識及び技能】 日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を、自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解させる。 水稲耕作の開始・金属器の伝来が弥生文化の社会に与えた影響を理解し、弥生土器などの出土品から得られる情報を収集して読み取る技能を身につける。 【思考力、判断力、表現力等】 黒曜石などの考古資料をもとに、集落・風習・食生活の変化などを踏まえて旧石器文化・縄文文化の社会について考察し、表現できるようにする。 小国の形成から邪馬台国などの小国の連合について、環濠集落や武器の出現、「魏志」倭人伝などの文献資料にもとづき、国内外の情勢を踏まえて多角的に考察した結果を、根拠を示して表現できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じて、旧石器文化や縄文文化の特色を明らかにしようとする。 日本列島における農耕社会の特色とともに、国家の形成につながるような社会構造の変化について考察することを通じて、弥生文化の特色を明らかにしようとする。	1 文化の始まり 2 農耕社会の成立 歴史資料と原始・古代の展望 ①古代社会と海外との交流 ②木簡から古代国家を探る	【知識・技能】 日本列島における旧石器文化・縄文文化の成立と変容を、自然環境の変化や大陸との影響に着目して理解できている。 水稲耕作の開始・金属器の伝来が弥生文化の社会に与えた影響を理解し、弥生土器などの出土品から得られる情報を収集して読み取る技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 黒曜石などの考古資料をもとに、集落・風習・食生活の変化などを踏まえて旧石器文化・縄文文化の社会について考察し、表現できている。 小国の形成から邪馬台国などの小国の連合について、環濠集落や武器の出現、「魏志」倭人伝などの文献資料にもとづき、国内外の情勢を踏まえて多角的に考察した結果を、根拠を示して表現できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じて、旧石器文化や縄文文化の特色を明らかにしようとして取り組めた。 日本列島における農耕社会の特色とともに、国家の形成につながるような社会構造の変化について考察することを通じて、弥生文化の特色を明らかにしようとして取り組めた。	○	○	○	14
		中間調査						
		【知識及び技能】 国家の形成と古墳文化について、中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して、小国の形成過程や古墳の特色を理解させる。 推古天皇・厩戸王・蘇我馬子による政権運営や飛鳥文化の特色について、中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して理解させる。	1 古墳文化の展開 2 飛鳥の朝廷	【知識・技能】 国家の形成と古墳文化について、中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して、小国の形成過程や古墳の特色を理解できている。 推古天皇・厩戸王・蘇我馬子による政権運営や飛鳥文化の特色について、中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して理解できている。				

	<p>【思考力、判断力、表現力等】 中国の歴史書の記事、日本列島内外の金石文、小国の王墓の副葬品などをもとに、中国大陸・朝鮮半島との交渉がもつ意味や、小国の形成過程について多面的・多角的に考察し、表現できるようにする。 仏教の受容や遣隋使の派遣などの大陸との交流について、資料をもとに考察した結果を、根拠を示して表現できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、小国の形成について考察することを通じ、古墳文化の展開とのつながりを見出そうとする。 中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、推古朝の政治や文化の展開についての課題を主体的に追究しようとする。</p>		<p>【思考・判断・表現】 中国の歴史書の記事、日本列島内外の金石文、小国の王墓の副葬品などをもとに、中国大陸・朝鮮半島との交渉がもつ意味や、小国の形成過程について多面的・多角的に考察し、表現できている。 仏教の受容や遣隋使の派遣などの大陸との交流について、資料をもとに考察した結果を、根拠を示して表現できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、小国の形成について考察することを通じ、古墳文化の展開とのつながりを見出そうと取り組めた。 中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、推古朝の政治や文化の展開についての課題を主体的に追究しようとして取り組めた。</p>	○	○	○	12
期末考査							
1学期配当時間計							26
2 学 期	<p>【知識及び技能】 隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目して、東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程などを理解させる。 平城京における大宝律令・養老律令による律令体制の整備について、遣唐使の派遣や地方社会との関わりなどに着目して理解させる。 隋・唐など中国王朝との関係と文化への影響などに着目して、律令体制の形成と密接に関連する仏教文化の特色を理解させる。 東アジアとの関係の変化や社会の変化と文化との関係などに着目して、平安遷都前後の諸政策や平安初期の文化の変容を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 天智朝・天武朝・持統朝の政治動向に着目して、律令体制整備の過程について考察し、表現できるようにする。 文献資料をもとに、藤原氏を中核とする政治抗争の進展と墾田永年私財法にみられる土地制度の変容を関連づけて考察し、根拠を示して表現できるようにする。 盛唐文化の受容を踏まえ、国史などの編纂や仏教美術の展開、仏教の興隆による鎮護国家の思想の誕生などについて考察し、表現できるようにする。 蝦夷や東アジア世界との関係の変化を踏まえて、中央における藤原北家の台頭、地方における土地支配体制の動揺について考察し、根拠を示して表現できるようにする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響などに着目して、律令体制の成立過程とのつながりを明らかにしようとする。 平城京の造営と奈良時代の政治の動向に着目して、律令体制の展開に関する課題を主体的に追究しようとする。 隋・唐などの中国王朝から導入された文化を考察し、政治や社会の動きとのつながりを見出そうとする。 東アジアとの関係の変化や社会の変化を考察することを通じて、文化とのつながりを主体的に追究しようとする。</p>	<p>1 律令国家への道 2 平城京の時代 3 律令国家の文化 4 律令国家の変容</p>	<p>【知識・技能】 隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響に着目して、東アジア情勢の変容と政治の関係、律令体制の成立過程などを理解できている。 平城京における大宝律令・養老律令による律令体制の整備について、遣唐使の派遣や地方社会との関わりなどに着目して理解できている。 隋・唐など中国王朝との関係と文化への影響などに着目して、律令体制の形成と密接に関連する仏教文化の特色を理解できている。 東アジアとの関係の変化や社会の変化と文化との関係などに着目して、平安遷都前後の諸政策や平安初期の文化の変容を理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】 天智朝・天武朝・持統朝の政治動向に着目して、律令体制整備の過程について考察し、表現できている。 文献資料をもとに、藤原氏を中核とする政治抗争の進展と墾田永年私財法にみられる土地制度の変容を関連づけて考察し、根拠を示して表現できている。 盛唐文化の受容を踏まえ、国史などの編纂や仏教美術の展開、仏教の興隆による鎮護国家の思想の誕生などについて考察し、表現できている。 蝦夷や東アジア世界との関係の変化を踏まえて、中央における藤原北家の台頭、地方における土地支配体制の動揺について考察し、根拠を示して表現できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 隋・唐など中国王朝との関係と政治への影響などに着目して、律令体制の成立過程とのつながりを明らかにしようとして取り組めた。 平城京の造営と奈良時代の政治の動向に着目して、律令体制の展開に関する課題を主体的に追究しようとして取り組めた。 隋・唐などの中国王朝から導入された文化を考察し、政治や社会の動きとのつながりを見出そうとしている。 東アジアとの関係の変化や社会の変化を考察することを通じて、文化とのつながりを主体的に追究しようとして取り組めた。</p>	○	○	○	15
中間考査							

<p>貴族政治の展開</p>	<p>【知識及び技能】 藤原北家が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。大陸からの文物の定着を前提として、平安時代にはより日本の風土にあった文化が形成されたことを理解している。 地方の諸勢力の成長と影響などに着目して、律令制度の実態や地方における開発、治安の維持、荘園の発達などについて、その特色や変容を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 奈良時代の政治や平安初期の政治改革とも比較しながら、摂関政治の特色について考察し、根拠を示して表現している。 国際関係の変化や遣唐使の廃止などを踏まえ、浄土教の出現による浄土の信仰の変容、かな文学の成立による国文学の発達などに着目して、貴族の生活・文化の特色を考察し、表現している。 文献資料を活用して、国司の支配の変容と公領の変質、荘園の発達を踏まえて地方支配の状況を考察し、根拠を示して表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 唐の衰退と東アジア情勢の変化が日本社会に与えた影響を考察することを通じて、摂関政治期の社会の特色を明らかにしようとしている。 平安時代の政治の在り方と文化との関係を考察することを通じて、そのつながりを見出そうとしている。 国司の在り方や徴税方式の変化、武士の出現など、地方の豪族や武力をもった勢力の動向が政治・社会に与えた影響を明らかにしようとしている。</p>	<p>1 摂関政治 2 国風文化 3 地方政治の展開と武士</p>	<p>【知識・技能】 藤原北家が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂関政治を理解できている。 大陸からの文物の定着を前提として、平安時代にはより日本の風土にあった文化が形成されたことを理解できている。 地方の諸勢力の成長と影響などに着目して、律令制度の実態や地方における開発、治安の維持、荘園の発達などについて、その特色や変容を理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】 奈良時代の政治や平安初期の政治改革とも比較しながら、摂関政治の特色について考察し、根拠を示して表現できている。 国際関係の変化や遣唐使の廃止などを踏まえ、浄土教の出現による浄土の信仰の変容、かな文学の成立による国文学の発達などに着目して、貴族の生活・文化の特色を考察し、表現できている。 文献資料を活用して、国司の支配の変容と公領の変質、荘園の発達を踏まえて地方支配の状況を考察し、根拠を示して表現できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 唐の衰退と東アジア情勢の変化が日本社会に与えた影響を考察することを通じて、摂関政治期の社会の特色を明らかにしようとして取り組めた。 平安時代の政治の在り方と文化との関係を考察することを通じて、そのつながりを見出そうとして取り組めた。 国司の在り方や徴税方式の変化、武士の出現など、地方の豪族や武力をもった勢力の動向が政治・社会に与えた影響を明らかにしようとして取り組めた。</p>	○	○	○	15
期末考査							
2学期配当時間計							30
<p>院政と武士の躍進</p>	<p>【知識及び技能】 貴族政治や土地制度の変容などをともに、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解させる。 平氏政権の台頭とその背景、宋との交易などについて、諸資料から様々な情報を読み取り、武士の政治進出について理解させる。 『年中行事絵巻』『一遍上人絵伝』『洛中洛外図屏風』を比較して、様々な情報を適切かつ効果的に調べてまとめることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現できるようにする。 武家政権の権力基盤となる武士の土地所有に至る変化を考察し、歴史における土地の支配や所有がもつ意味について多面的・多角的に考察し、表現できるようにする。 複数の絵画資料に描かれている中世の都大路の様子を比較した結果について、時代を通観する問いを踏まえて考察し、仮説を表現できるようにする。</p>	<p>1 院政の始まり 2 院政と平氏政権</p> <p>歴史資料と中世の展望 絵画から中世社会を探る</p>	<p>【知識・技能】 貴族政治や土地制度の変容などをともに、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解できている。 平氏政権の台頭とその背景、宋との交易などについて、諸資料から様々な情報を読み取り、武士の政治進出について理解できている。 『年中行事絵巻』『一遍上人絵伝』『洛中洛外図屏風』を比較して、様々な情報を適切かつ効果的に調べてまとめることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 武士が台頭する契機や、この時期の土地制度の仕組みなどを考察し、古代から中世への時代の転換について根拠を示して表現できている。 武家政権の権力基盤となる武士の土地所有に至る変化を考察し、歴史における土地の支配や所有がもつ意味について多面的・多角的に考察し、表現できている。 複数の絵画資料に描かれている中世の都大路の様子を比較した結果について、時代を通観する問いを踏まえて考察し、仮説を表現できている。</p>	○	○	○	6

3 学期	<p>【学びに向かう力、人間性等】 中世社会の特色について多面的・多角的に考察することを通じて、時代を俯瞰する問いを表現し、追究しようとする。 古代との比較などを通して、中世では同じ時期に政治的な力をもつ勢力が複数存在していたことなど、中世の特色を探究しようとする。 中世の京都を描いた絵画資料から得られる情報をもとに、中世社会の特色について主体的に課題を見出そうとする。</p>		<p>【主体的に学習に取り組む態度】 中世社会の特色について多面的・多角的に考察することを通じて、時代を俯瞰する問いを表現し、追究しようとする。 古代との比較などを通して、中世では同じ時期に政治的な力をもつ勢力が複数存在していたことなど、中世の特色を探究しようとする。 中世の京都を描いた絵画資料から得られる情報をもとに、中世社会の特色について主体的に課題を見出そうとする。 取り組めた。</p>							
	<p>【知識及び技能】 諸資料から情報を読み取り、源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などについて理解している。 承久の乱が幕府と朝廷との関係に与えた影響について、諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 幕府と朝廷の二元的支配構造の特色について、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確にして表現している。 武家と公家の関係の変化が土地の支配に及ぼした影響を考察し、根拠を明確にして表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 鎌倉幕府の成立過程や封建制度の形成に関する課題を主体的に追究し、前の時代とのつながりを見出そうとしている。 公武関係の変化による武家政権の展開に着目し、鎌倉時代を通じた武家の支配の特質について主体的に追究しようとしている。</p>	<p>1 鎌倉幕府の成立</p> <p>2 武士の社会</p>	<p>【知識・技能】 諸資料から情報を読み取り、源平争乱から鎌倉幕府の成立過程、幕府と朝廷の二元的支配構造、封建制度の成立などについて理解できている。 承久の乱が幕府と朝廷との関係に与えた影響について、諸資料から適切に情報を読み取り、理解できている。</p> <p>【思考・判断・表現】 幕府と朝廷の二元的支配構造の特色について、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確にして表現できている。 武家と公家の関係の変化が土地の支配に及ぼした影響を考察し、根拠を明確にして表現できている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 鎌倉幕府の成立過程や封建制度の形成に関する課題を主体的に追究し、前の時代とのつながりを見出そうとする。 公武関係の変化による武家政権の展開に着目し、鎌倉時代を通じた武家の支配の特質について主体的に追究しようとする。 取り組めた。</p>	○	○	○	8			
学年末考査										
							3学期配当時間計	14		
							年間配当時間計	70		

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等
なし	なし	学年末発表準備	なし	なし	学年末発表準備	なし	なし

都立新宿高等学校 令和6年度(2024年度) シラバス

教科:	地理歴史		科目名:	世界史探究		講座名:	世界史探究	
年次:	2年次	単位数:	2	区分:	必修	形態:	クラス単位	
使用教科書・補助教材:	使用教科書:『世界史探究』/東京書籍・補助教材:『最新世界史図表 グローバルワイド』/第一学習社							
教科担当者:	横田 成洋							

科目(講座)の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から世界の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

日常の学習方法

教科書と資料集・授業プリントを活用し、必要な知識を予習・復習しておく。授業中の協動的な探究活動も積極的に取り組むこと。

履修上の注意(発展科目との関連)

3年次に世界史を選択する生徒にとって、2年次に学ぶ内容は3年次で繰り返すことができない範囲となることを念頭に受講すること。

年間授業計画

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	世界史への まなざし	<p>【知識及び技能】 人類の誕生と地球規模での拡散・移動を基に、人類の歴史と地球環境との関わりを理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地球の歴史における人類の歴史の位置と人類の特性を考察し、表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 諸事象を捉えるための時間の尺度や、諸事象の空間的な広がりに着目できるようにする。</p>	<p>(1) 自然環境と人類の進化 (2) 人類と言語</p>	<p>【知識及び技能】 人類の誕生と地球規模での拡散・移動を基に、人類の歴史と地球環境との関わりを理解できている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地球の歴史における人類の歴史の位置と人類の特性を考察し、表現できている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 諸事象を捉えるための時間の尺度や、諸事象の空間的な広がりに着目できているか。</p>	○	○	○	2
	文明の成立 と古代文明 の特質	<p>【知識及び技能】 文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを設定する。</p>	<p>(1) メソポタミア文明 (2) エジプト文明 (3) 東地中海の諸民族 (4) エーゲ文明</p>	<p>【知識及び技能】 文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目できている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを設定できているか。</p>	○	○	○	12
中間考査								

	<p>【知識及び技能】 古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解いている。</p>	<p>(1)オリエントの統一と分裂 (2)南アジアの古代文明 (3)中国の古代文明 (4)南北アメリカ文明</p>	<p>【知識及び技能】 古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目できるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解いているか。</p>	○	○	○	12	
期末考査								
1学期配当時間計							26	
2 学 期	諸地域の歴史的的特質	<p>【知識及び技能】 秦・漢と遊牧国家、唐と近隣諸国の動向などを基に、東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 東アジアと中央ユーラシアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解けるようにする。</p>	<p>(1)中央ユーラシアの風土 (2)秦 (3)漢</p>	<p>【知識及び技能】 秦・漢と遊牧国家、唐と近隣諸国の動向などを基に、東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 東アジアと中央ユーラシアの歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目できている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解いている。</p>	○	○	6	6
	中央ユーラシアと東アジア世界	<p>【知識及び技能】 秦・漢と遊牧国家、唐と近隣諸国の動向などを基に、東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 唐の統治体制と社会や文化の特色、唐と近隣諸国との関係、遊牧民の社会の特徴と周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解けるようにする。</p>	<p>(1)中国の動乱と変容 (2)東アジア文化圏の形成 (3)唐と近隣諸国 (4)突厥とウイグル・ソグド人</p>	<p>【知識及び技能】 秦・漢と遊牧国家、唐と近隣諸国の動向などを基に、東アジアと中央ユーラシアの歴史的特質を理解しているか。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 唐の統治体制と社会や文化の特色、唐と近隣諸国との関係、遊牧民の社会の特徴と周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解いている。</p>	○	○	○	12
	中間考査							
南アジア世界と東南アジア世界の展開	<p>【知識及び技能】 仏教の成立とヒンドゥー教、南アジアと東南アジアの諸国家などを基に、南アジアと東南アジアの歴史的特質を理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 南アジアと東南アジアにおける宗教や文化の特色、東南アジアと周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p>	<p>(1)統一国家の成立 (2)クシャーナ朝と大乘仏教 (3)インド古典文化とヒンドゥー教の定着 (4)東南アジア世界の形成と展開</p>	<p>【知識及び技能】 仏教の成立とヒンドゥー教、南アジアと東南アジアの諸国家などを基に、南アジアと東南アジアの歴史的特質を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 南アジアと東南アジアにおける宗教や文化の特色、東南アジアと周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現できている。</p>	○	○	○	12	

	【学びに向かう力、人間性等】 主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解けるようにする。		【学びに向かう力、人間性等】 主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解けている。					
期末考査				2学期配当時間計				
3 学 期	西アジアと地中海周辺の国家形成	<p>【知識及び技能】 西アジアと地中海周辺の諸国家、キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などを基に、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 西アジアと地中海周辺の諸国家の社会や文化の特色、キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解けるようにする。</p>	<p>(1)イラン諸国家の興亡とイラン文明 (2)ギリシア人の都市国家 (3)ヘレニズム時代 (4)ローマと地中海支配 (5)キリスト教の成立と発展</p>	<p>【知識及び技能】 西アジアと地中海周辺の諸国家、キリスト教とイスラームの成立とそれらを基盤とした国家の形成などを基に、西アジアと地中海周辺の歴史的特質を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 西アジアと地中海周辺の諸国家の社会や文化の特色、キリスト教とイスラームを基盤とした国家の特徴などを多面的・多角的に考察し、表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 西アジアと地中海周辺の歴史に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解くことができる。</p>	○	○	○	7
	イスラーム教の成立とヨーロッパ世界の形成	<p>【知識及び技能】 アラブ人によるイスラーム帝国の形成と展開とイスラーム世界の拡大を理解するとともに、ビザンツ帝国と東ヨーロッパの動向、西ヨーロッパの封建社会の成立と変動に触れ、キリスト教とヨーロッパ世界の形成と展開の過程を理解すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ゲルマン人の活動やイスラーム勢力の進出により地中海世界の政治的統一性が失われた後に、キリスト教を共通の基盤とするヨーロッパ世界がそれぞれの地域性を保ちながら東西に形成され、展開していった過程を多面的・多角的に考察し、表現すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして他の生徒と対話的・協同的に学びを深めるようにする。</p>	<p>(1)アラブの大征服とイスラーム政権の成立 (2)ウマイヤ朝とアッバース朝 (3)ヨーロッパ世界の形成 (4)外部勢力の侵入 (5)封建社会の成立</p>	<p>【知識及び技能】 アラブ人によるイスラーム帝国の形成と展開とイスラーム世界の拡大を理解するとともに、ビザンツ帝国と東ヨーロッパの動向、西ヨーロッパの封建社会の成立と変動に触れ、キリスト教とヨーロッパ世界の形成と展開の過程を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ゲルマン人の活動やイスラーム勢力の進出により地中海世界の政治的統一性が失われた後に、キリスト教を共通の基盤とするヨーロッパ世界がそれぞれの地域性を保ちながら東西に形成され、展開していった過程を多面的・多角的に考察し、表現できている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして他の生徒と対話的・協同的に学びを深めることができている。</p>	○	○	○	7
学年末考査				3学期配当時間計				
				年間配当時間計				

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春)実施範囲等	1学期実力テスト実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏)実施範囲等	2学期実力テスト実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬)実施範囲等	3学期実力テスト実施範囲等
なし	なし	学年末発表準備	なし	なし	学年末発表準備	なし	なし

都立新宿高等学校 令和6年度(2024年度) シラバス

教科:	数学		科目名:	数学Ⅱ		講座名:	数学Ⅱ	
年次:	2年次	単位数:	3	区分:	必修	形態:	クラス単位	
使用教科書・補助教材:	数学Ⅱ(数研出版)・チャート式基礎からの数学Ⅱ+B(数研出版)・新課程 練習ドリル 数学Ⅱ 標準編(数研出版)							
教科担当者:	加倉井 祐二・井手 亮太・二科 洋太・寺島 求							

科目(講座)の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付ける。	数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善しようとする態度や創造性の基礎を養う。

日常の学習方法

<p>①予習 教科書などの予習を行い、疑問点を明確にする。</p> <p>②授業 講義、演習を主として学習する。予習での疑問点が解消するように努め、数学的な内容の理解を図る。</p> <p>③復習 (1)授業の復習をするともに、演習をすることで、理解の度合いを確認し、授業内容を定着させ、計算力の向上を図る。</p> <p>(2)発展的な学習を行い、基礎・基本の定着を図り、実践力を付ける。</p>

履修上の注意(発展科目との関連)

<p>必修科目であり、3年次生で履修する「数学Ⅲ」に繋がる科目である。</p> <p>大学入学共通テスト出題内容の基本を学ぶ、という意味でも極めて重要な科目である。</p>
--

年間授業計画

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数
					○	○	○	
1 学 期	複素数と方程式	<p>【知識及び技能】</p> <p>複素数や方程式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>複素数や方程式を多面的にみたり適切に変形したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>複素数や方程式についてその有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとする態度を養う。</p>	(複素数) (2次方程式の解と判別) (解と係数の関係) 剰余の定理と因数定理 高次方程式	<p>【知識・技能】</p> <p>複素数や方程式についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解し、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>複素数や方程式を多面的にみたり適切に変形したりする方法を考察できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>複素数や方程式についてその有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めることができる。</p>	○	○	○	6
	図形と方程式	<p>【知識及び技能】</p> <p>座標や式を用いて直線や円などの平面図形の性質や関係を理解できるようにする。また、不等式の表す領域を求めたり、領域を表すことができる能力を養う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>座用平面上の図形について方程式を用いて表し、図形の性質や位置関係について考察したり、軌跡と不等式の表す領域について理解し、求めることができる応用力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>図形と方程式の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決に活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を養う。</p>	直線上の点 平面上の点 直線の方程式 2直線の関係 円の方程式 円と直線 2つの円 軌跡と領域 軌跡と方程式 不等式の表す領域	<p>【知識及び技能】</p> <p>座標や式を用いて直線や円などの平面図形の性質や関係を理解することができる。また、不等式の表す領域を求めたり、領域を表すことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>座用平面上の図形について方程式を用いて表し、図形の性質や位置関係について考察したり、軌跡と不等式の表す領域について理解し、求めることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>図形と方程式の考えを用いて考察するよさを認識し問題解決に活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようすることができる。</p>	○	○	○	23
	三角関数	<p>【知識及び技能】</p> <p>角の概念を拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解させる。また、三角関数のグラフの特徴や加法定理、2倍角の公式三角関数の合成について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察したり、加法定理から新たな性質を導いたり、数学的な特徴や他の事象との関係を考察する態度を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>事象を三角関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を養う。</p>	一般角と弧度法 三角関数の性質 三角関数のグラフ	<p>【知識及び技能】</p> <p>角の概念を拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解している。また、三角関数のグラフの特徴や加法定理、2倍角の公式三角関数の合成について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察したり、加法定理から新たな性質を導いたり、数学的な特徴や他の事象との関係を考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>事象を三角関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようすることができる。</p>	○	○	○	10
1学期配当時間計								39

2 学 期	三角関数	<p>【知識及び技能】 角の概念を拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解させる。また、三角関数のグラフの特徴や加法定理、2倍角の公式三角関数の合成について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察したり、加法定理から新たな性質を導いたり、数学的な特徴や他の事象との関係を考察する態度を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 事象を三角関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を養う。</p>	<p>加法定理 和と積の公式 三角関数の合成</p>	<p>【知識及び技能】 角の概念を拡張する意義や弧度法による角度の表し方について理解している。また、三角関数のグラフの特徴や加法定理、2倍角の公式三角関数の合成について理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 三角関数の式とグラフの関係について多面的に考察したり、加法定理から新たな性質を導いたり、数学的な特徴や他の事象との関係を考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 事象を三角関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決にそれらを活用しようとし、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようすることができる。</p>	○	○	○	10
	指数関数と対数関数	<p>【知識及び技能】 指数を拡張する意義や、指数関数のグラフの特徴を理解させる。また、対数の意味と性質、及びグラフの特徴を理解させ対数の計算を身に付けさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指数と対数を相互に関連付けて考察したり、指数関数と対数関数の式とグラフの関係を多面的に考察する態度を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 事象を指数関数・対数関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決に活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を養う。</p>	<p>指数の拡張 指数関数 対数とその性質 対数関数 常用対数</p>	<p>【知識及び技能】 指数を拡張する意義や、指数関数のグラフの特徴を理解することができる。また、対数の意味と性質、及びグラフの特徴を理解し対数の計算をすることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指数と対数を相互に関連付けて考察したり、指数関数と対数関数の式とグラフの関係を多面的に考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 事象を指数関数・対数関数の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決に活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようすることができる。</p>	○	○	○	13
	微分法と積分法	<p>【知識及び技能】 微分係数や導関数の意味について理解し、導関数を用いて関数の値の増減や極値を調べ、グラフの概形をかく方法を理解させる。また、不定積分・定積分の意味を理解し、不定積分や定積分の値を求めることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 関数とその導関数との関係や、関数の局所的な変化に着目し、数学的な特徴や他の事象との関係を考察する能力を養う。また、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める能力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 事象を微分・積分の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決に活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を養う。</p>	<p>微分係数 関数の極限値 導関数 接線 関数の値の変化 最大値・最小値 不定積分 定積分</p>	<p>【知識及び技能】 微分係数や導関数の意味について理解し、導関数を用いて関数の値の増減や極値を調べ、グラフの概形をかくことができる。また、不定積分・定積分の意味を理解し、不定積分や定積分の値を求めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 関数とその導関数との関係や、関数の局所的な変化に着目し、数学的な特徴や他の事象との関係を考察することができる。また、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 事象を微分・積分の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決に活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようすることができる。</p>	○	○	○	22
2学期配当時間計								45

3 学期	微分法と積分法	<p>【知識及び技能】 微分係数や導関数の意味について理解し、導関数を用いて関数の値の増減や極値を調べ、グラフの概形をかく方法を理解させる。また、不定積分・定積分の意味を理解し、不定積分や定積分の値を求めることができるようにする。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 関数とその導関数との関係や、関数の局所的な変化に着目し、数学的な特徴や他の事象との関係を考察する能力を養う。また、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求める能力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 事象を微分・積分の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決に活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を養う。</p>	定積分 面積	<p>【知識及び技能】 微分係数や導関数の意味について理解し、導関数を用いて関数の値の増減や極値を調べ、グラフの概形をかくことができる。また、不定積分・定積分の意味を理解し、不定積分や定積分の値を求めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 関数とその導関数との関係や、関数の局所的な変化に着目し、数学的な特徴や他の事象との関係を考察することができる。また、積分の考えを用いて直線や関数のグラフで囲まれた図形の面積を求めることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 事象を微分・積分の考えを用いて考察するよさを認識し、問題解決に活用したり、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとする態度を養う。</p>	○	○	○	10
	(発展学習) 数学Ⅱ 演習	<p>【知識及び技能】 いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする能力を養う。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。</p>	式と証明 複素数と方程式 図形と方程式 三角関数 指数関数・対数関数 微分法と積分法	<p>【知識及び技能】 いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察することができる。平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりすることができる。関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察することができる。関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようすることができる。</p>	○	○	○	11
3学期配当時間計								21
年間配当時間計								105

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等
		夏期講習 課題	1学期の学習範囲		課題	2学期の学習範囲	

都立新宿高等学校 令和6年度(2024年度) シラバス

教科:	数学		科目名:	数学B		講座名:	数学B	
年次:	2年次	単位数:	2	区分:	必修	形態:	習熟度別	
使用教科書・補助教材:	数学B(数研出版)・基礎からの数学B 完成ノート(数研出版)							
教科担当者:	加倉井・加藤・小島・富重							

科目(講座)の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数列、統計的な推測についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数理化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	離散的な変化の規則性に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

日常の学習方法

①予習 教科書などの予習を行い、疑問点を明確にする。 ②授業 講義、演習を主として学習する。予習での疑問点が解消するように努め、数学的な内容の理解を図る。 ③復習 (1)授業の復習をするとともに、演習をすることで、理解の度合いを確認し、授業内容を定着させ、計算力の向上を図る。 (2)発展的な学習を行い、基礎・基本の定着を図り、実践力を付ける。

履修上の注意(発展科目との関連)

数学Ⅲにつながる基礎的な科目である。 1学期は「数学C基礎」(1単位)を履修し、本科目「数学B」は2学期以降に履修する。

年間授業計画

単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数	
2 学 ...	統計的な推測	確率分布 統計的な推測	【知識・技能】 (ア)標本調査の考え方について理解を深めることができる。 (イ)確率変数と確率分布について理解することができる。 (ウ)二項分布と正規分布の性質や特徴について理解することができる。 (エ)正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解することができる。 【思考・判断・表現】 (ア)確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察することができる。 (イ)目的に応じて標本調査を設計し、収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして、母集団の特徴や傾向を推測し判断するとともに、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 統計的な推測についてその有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとする態度を養う。	【知識・技能】 (ア)標本調査の考え方について理解を深めることができる。 (イ)確率変数と確率分布について理解することができる。 (ウ)二項分布と正規分布の性質や特徴について理解することができる。 (エ)正規分布を用いた区間推定及び仮説検定の方法を理解することができる。 【思考・判断・表現】 (ア)確率分布や標本分布の特徴を、確率変数の平均、分散、標準偏差などを用いて考察することができる。 (イ)目的に応じて標本調査を設計し、収集したデータを基にコンピュータなどの情報機器を用いて処理するなどして、母集団の特徴や傾向を推測し判断するとともに、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力を養う。 【主体的に学習に取り組む態度】 統計的な推測についてその有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとする態度を養うことができる。	○	○	○	26
			中間考査		○	○		1

期	<p>【知識及び技能】</p> <p>(ア)等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求めること。</p> <p>(イ)いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解すること。</p> <p>(ウ)漸化式について理解し、事象の変化を漸化式で表したり、簡単な漸化【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>(ア)事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察すること。</p> <p>(イ)事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用すること。</p> <p>(ウ)自然数の性質などを見だし、それらを数学的帰納法を用いて証明するとともに、他の証明方法と比較し【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>数列についてその有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとする態度を養う。</p>	<p>数列</p> <p>等差数列とその和</p> <p>等比数列とその和</p> <p>和の記号Σ</p> <p>階差数列</p> <p>いろいろな数列の和</p> <p>漸化式と数列</p> <p>数学的帰納法</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>(ア)等差数列と等比数列について理解し、それらの一般項や和を求めることができる。</p> <p>(イ)いろいろな数列の一般項や和を求める方法について理解することができる。</p> <p>(ウ)漸化式について理解し、事象の【思考・判断・表現】</p> <p>(ア)事象から離散的な変化を見だし、それらの変化の規則性を数学的に表現し考察することができる。</p> <p>(イ)事象の再帰的な関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、数列の考えを問題解決に活用することができる。</p> <p>(ウ)自然数の性質などを見だし、それらを数学的帰納法を用いて証明【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>数列についてその有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めることができる。</p>	○	○	○	17
2学期配当時間計							44
3 学期	<p>【知識及び技能】</p> <p>(ア)数列の極限について理解し、数列 $\{r_n\}$ の極限などを基に簡単な数列の極限を求めること。</p> <p>(イ)無限級数の収束、発散について理解し、無限等比級数などの簡単な無限級数の和を求めること。</p> <p>(ウ)簡単な分数関数と無理関数の値の変化やグラフの特徴について理解すること。</p> <p>(エ)合成関数や逆関数の意味を理解し、簡単な場合についてそれらを求めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>(ア)式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりして、極限を求める方法を考察すること。</p> <p>(イ)既に学習した関数の性質と関連付けて、簡単な分数関数と無理関数のグラフの特徴を多面的に考察すること。</p> <p>(ウ)数列の値の極限に着目し、事象を数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて極限を調べるなどして、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすること【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>数列の極限についてその有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとする態度を養う。</p>	<p>分数関数</p> <p>無理関数</p> <p>逆関数と合成関数</p> <p>数列の極限</p> <p>無限等比数列</p> <p>無限級数</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>(ア)数列の極限について理解し、数列 $\{r_n\}$ の極限などを基に簡単な数列の極限を求めることができる。</p> <p>(イ)無限級数の収束、発散について理解し、無限等比級数などの簡単な無限級数の和を求めることができる。</p> <p>(ウ)簡単な分数関数と無理関数の値の変化やグラフの特徴について理解することができる。</p> <p>(エ)合成関数や逆関数の意味を理解し、簡単な場合についてそれらを求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>(ア)式を多面的に捉えたり目的に応じて適切に変形したりして、極限を求める方法を考察することができる。</p> <p>(イ)既に学習した関数の性質と関連付けて、簡単な分数関数と無理関数のグラフの特徴を多面的に考察することができる。</p> <p>(ウ)数列の極限に着目し、事象を数学的に捉え、コンピュータなどの情報機器を用いて極限を調べるなどして、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることが【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>数列の極限についてその有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとする態度を養う。</p>	○	○	○	25
学年末審査							1
3学期配当時間計							26
年間配当時間計							70

授業外での学習・講習・特別審査等

特別審査(春)実施範囲等	1学期実力テスト実施範囲等	夏季休業期間	特別審査(夏)実施範囲等	2学期実力テスト実施範囲等	冬季休業期間	特別審査(冬)実施範囲等	3学期実力テスト実施範囲等
		夏期講習 課題	1学期の学習範囲		課題	2学期の学習範囲	

都立新宿高等学校 令和6年度(2024年度) シラバス

教科:	数学		科目名:	数学C基礎		講座名:	数学C基礎	
年次:	2年次	単位数:	1	区分:	必修	形態:	習熟度別	
使用教科書・補助教材:	数学C(数研出版)・基礎からの数学C 完成ノート(数研出版)							
教科担当者:	加倉井・加藤・小島・富重							

科目(講座)の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ベクトルについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

日常の学習方法

①予習 教科書などの予習を行い、疑問点を明確にする。 ②授業 講義、演習を主として学習する。予習での疑問点が解消するように努め、数学的な内容の理解を図る。 ③復習 (1)授業の復習をするとともに、演習をすることで、理解の度合いを確認し、授業内容を定着させ、計算力の向上を図る。 (2)発展的な学習を行い、基礎・基本の定着を図り、実践力を付ける。

履修上の注意(発展科目との関連)

本科目では数学Cのうち、ベクトルを扱う。複素数平面・式と曲線は3年次選択科目「数学C」で扱う。 本科目「数学C基礎」は1学期に履修し、「数学B」(2単位)を2学期以降に履修する。
--

年間授業計画

単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	【知識及び技能】 (ア)平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの成分表示について理解すること。 (イ)ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 (ア)美致などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算法則を考察すること。 (イ)ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて、平面図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりすること。 (ウ)数量や図形及びそれらの関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用すること。 【学びに向かう力、人間性等】 平面上のベクトルについてその有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとする態度を養う。	平面上のベクトル ベクトルの演算 ベクトルの成分 ベクトルの内積 位置ベクトル ベクトルと図形 ベクトル方程式	【知識・技能】 (ア)平面上のベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、位置ベクトル、ベクトルの成分表示について理解することができる。 (イ)ベクトルの内積及びその基本的な性質について理解することができる。 【思考・判断・表現】 (ア)美致などの演算の法則と関連付けて、ベクトルの演算法則を考察することができる。 (イ)ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて、平面図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりすることができる。 (ウ)数量や図形及びそれらの関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用すること。 【主体的に学習に取り組む態度】 平面上のベクトルについてその有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとする態度を養うことができる。	○	○	○	20
	中間考査				○	○	
	【知識及び技能】 座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 (ア)ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて、空間図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりすること。 (イ)数量や図形及びそれらの関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用すること。 【学びに向かう力、人間性等】 空間のベクトルについてその有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとする態度を養う。	空間の座標 空間のベクトル ベクトルの成分 ベクトルの内積 位置ベクトル ベクトルと図形 座標空間における図形 平面の方程式 直線の方程式	【知識・技能】 座標及びベクトルの考えが平面から空間に拡張できることを理解することができる。 【思考・判断・表現】 (ア)ベクトルやその内積の基本的な性質などを用いて、空間図形の性質を見いだしたり、多面的に考察したりすることができる。 (イ)数量や図形及びそれらの関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、ベクトルやその内積の考えを問題解決に活用すること。 【主体的に学習に取り組む態度】 空間のベクトルについてその有用性を認識し活用しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めようとする態度を養うことができる。	○	○	○	13
期末考査				○	○		1

都立新宿高等学校 令和6年度(2024年度) シラバス

教科:	理科		科目名:	物理基礎		講座名:	物理基礎	
年次:	2年次	単位数:	3	区分:	必修	形態:	クラス単位	
使用教科書・補助教材:	物理基礎(数研出版)、新課程版セミナー物理基礎+物理、物理基礎副読本							
教科担当者:	安藤、竹内、小室							

科目(講座)の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然界の現象や身の回りの道具などの仕組みや原理についての知識を獲得する。	自然界の現象や身の回りの道具などの仕組みや原理について論理的に考える力を獲得する。	自然界の現象や身の回りの道具などの仕組みや原理について考える姿勢を養う。

日常の学習方法

<p>1基礎事項(理論)の定着をプリントや演習問題等を通して図る。 2実験(思考実験)や観察を通して、身の回りの事象に興味・関心を持つ。</p>

履修上の注意(発展科目との関連)

必修科目

年間授業計画

単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 等速直線運動の式および$x-t$図、$v-t$図を理解している。 物体の運動を表すには向きが必要であること、および速さと速度の違いを理解している。 直線上の合成速度、相対速度の意味と求め方を理解している。 加速度の定義や正負の意味を正しく理解している。 等加速度直線運動を表す3つの式がどのようにして得られたかを理解し、その式やグラフを正しく運用することができる。 記録タイマーを正しく用いて、得られた結果からグラフを作成し、加速度を求めることができる。 自由落下や鉛直投射において、与えられた時刻における高さや速度を与える式の運用ができる。 自由落下や鉛直投射はいずれも等加速度直線運動の一種であることを理解している。 自由落下や鉛直投射において、与えられた時刻における高さや速度を与える式の運用ができる。 自由落下や鉛直投射はいずれも等加速度直線運動の一種であることを理解している。 		<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 等速直線運動の式および$x-t$図、$v-t$図を理解しているか。 物体の運動を表すには向きが必要であること、および速さと速度の違いを理解しているか。 直線上の合成速度、相対速度の意味と求め方を理解しているか。 加速度の定義や正負の意味を正しく理解しているか。 等加速度直線運動を表す3つの式がどのようにして得られたかを理解し、その式やグラフを正しく運用することができるか。 記録タイマーを正しく用いて、得られた結果からグラフを作成し、加速度を求めることができるか。 自由落下や鉛直投射において、与えられた時刻における高さや速度を与える式の運用ができるか。 自由落下や鉛直投射はいずれも等加速度直線運動の一種であることを理解しているか。 自由落下や鉛直投射において、与えられた時刻における高さや速度を与える式の運用ができるか。 自由落下や鉛直投射はいずれも等加速度直線運動の一種であることを理解しているか。 				

<p>運動の表し方</p>	<p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・等速直線運動する物体の運動のようすについて説明できる。 ・動く観測者から見た場合の、観測者と同一直線上を動く物体の運動のようすを説明できる。 ・等加速度直線運動する物体のようすについて説明できる。 ・加速度の意味・表し方、またこれらはグラフ上ではどのように示されるかを正しく理解し、それをもとに物体の運動のようすを考えることができる。 ・斜面上を降下する台車の運動を記録タイマーで調べ、加速度が一定であることを考察することができる。 ・等加速度直線運動する物体のようすについて説明できる。 ・加速度の意味・表し方、またこれらはグラフ上ではどのように示されるかを正しく理解し、それをもとに物体の運動のようすを考察することができる。 ・斜面上を降下する台車の運動を記録タイマーで調べ、加速度が一定であることを考察することができる。 ・自由落下、鉛直投射の性質を正しく理解し、これらの運動について考察することができる。 ・自由落下する物体のようすについて説明できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の運動から、速さ、時間、進む距離についての関係に興味をもち、速さと速度の違いや、相対速度の意味や使い方を理解しようとしている。 ・斜面上を降下する台車の運動を調べる実験に主体的に取り組んでいる。 ・日常の運動から、落下する物体の運動に興味をもち、自由落下する物体の運動、鉛直投射された物体の運動の表し方を理解しようとしている。 	<p>1.速度 2.加速度 3.落体の運動</p>	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・等速直線運動する物体の運動のようすについて説明できるか。 ・動く観測者から見た場合の、観測者と同一直線上を動く物体の運動のようすを説明できるか。 ・等加速度直線運動する物体のようすについて説明できるか。 ・加速度の意味・表し方、またこれらはグラフ上ではどのように示されるかを正しく理解し、それをもとに物体の運動のようすを考察することができるか。 ・斜面上を降下する台車の運動を記録タイマーで調べ、加速度が一定であることを考察することができるか。 ・等加速度直線運動する物体のようすについて説明できるか。 ・加速度の意味・表し方、またこれらはグラフ上ではどのように示されるかを正しく理解し、それをもとに物体の運動のようすを考察することができるか。 ・斜面上を降下する台車の運動を記録タイマーで調べ、加速度が一定であることを考察することができるか。 ・自由落下、鉛直投射の性質を正しく理解し、これらの運動について考察することができるか。 ・自由落下する物体のようすについて説明できるか。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常の運動から、速さ、時間、進む距離についての関係に興味をもち、速さと速度の違いや、相対速度の意味や使い方を理解しようとしているか。 ・斜面上を降下する台車の運動を調べる実験に主体的に取り組んでいるか。 ・日常の運動から、落下する物体の運動に興味をもち、自由落下する物体の運動、鉛直投射された物体の運動の表し方を理解しようとしているか。 	○	○	○	10
<p>1学期</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重力、垂直抗力、摩擦力、糸が引く力、弾性力について、理解している。 ・力がベクトル量であることを認識し、力の合成や分解ができる。 ・注目する物体にはたらく力が指摘でき、つりあいの式が立てられる。 ・作用・反作用の2力とつりあいの2力を区別して考えることができる。 ・3つの力がはたらいてつりあうときの力の関係を確認でき、理解している。 ・ばねにつながれた棒が取り付けられた台車を用いて、作用反作用の法則が成りつたことを確認できる。 ・物体が力を受けるとき(あるいは受けられないとき)、運動状態はどのようになるか、逆に、物体の運動状態からどのような力がはたらいているかを指摘できる。 ・さまざまな運動をしている物体について、運動方程式を立てて考えることができる。 ・力学台車に力を加えると、どのような運動となるかを実験で調べることができ、データにまとめることができる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p>		<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重力、垂直抗力、摩擦力、糸が引く力、弾性力について、理解しているか。 ・力がベクトル量であることを認識し、力の合成や分解ができるか。 ・注目する物体にはたらく力が指摘でき、つりあいの式が立てられるか。 ・作用・反作用の2力とつりあいの2力を区別して考えることができるか。 ・3つの力がはたらいてつりあうときの力の関係を確認でき、理解しているか。 ・ばねにつながれた棒が取り付けられた台車を用いて、作用反作用の法則が成りつたことを確認できるか。 ・物体が力を受けるとき(あるいは受けられないとき)、運動状態はどのようになるか、逆に、物体の運動状態からどのような力がはたらいているかを指摘できるか。 ・さまざまな運動をしている物体について、運動方程式を立てて考えることができるか。 ・力学台車に力を加えると、どのような運動となるかを実験で調べることができ、データにまとめることができるか。 <p>【思考・判断・表現】</p>				

<p>運動の法則</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・重力の大きさは物体の質量と重力加速度の大きさとの積であり、運動の状態によらないことを説明できる。 ・作用・反作用の2力とつりあいの2力の違いを理解し、力のつりあいの式を考えたり、それぞれの2力の間の関係について説明できる。 ・慣性の法則、運動方程式が理解でき、問題解決にあたって式の運用が正しくできる。 ・運動方程式を用いて、物体の運動を考察することができる。 ・力学台車に力を加えるときの運動を実験で調べ、引く力の大きさと加速度の大きさ、台車の質量の間にある関係について考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見ること、触ることができない「力」に対して、どのようにして力の存在がわかるのか、また力にはどのような種類があるのかについて考えようとしている。 ・力が合成・分解して表されることに興味をもち、「力がつりあう」とはどういうことを理解しようとしている。 ・「作用・反作用」と「つりあい」の2力との違いについて、考えようとしている。 ・力のつりあいや作用反作用の法則を確かめる実験に主体的に取り組んでいる。 ・物体の運動状態は、受ける力とどのような関係にあるかについて興味・関心をもち、理解しようとしている。 ・力学台車に力を加えるときの運動を調べる実験に主体的に取り組んでいる。 	<p>1.力とそのはたらき 2.力のつりあい 3.運動の法則</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・重力の大きさは物体の質量と重力加速度の大きさとの積であり、運動の状態によらないことを説明できるか。 ・作用・反作用の2力とつりあいの2力の違いを理解し、力のつりあいの式を考えたり、それぞれの2力の間の関係について説明できるか。 ・慣性の法則、運動方程式が理解でき、問題解決にあたって式の運用が正しくできるか。 ・運動方程式を用いて、物体の運動を考察することができるか。 ・力学台車に力を加えるときの運動を実験で調べ、引く力の大きさと加速度の大きさ、台車の質量の間にある関係について考察することができるか。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見ること、触ることができない「力」に対して、どのようにして力の存在がわかるのか、また力にはどのような種類があるのかについて考えようとしているか。 ・力が合成・分解して表されることに興味をもち、「力がつりあう」とはどういうことを理解しようとしているか。 ・「作用・反作用」と「つりあい」の2力との違いについて、考えようとしているか。 ・力のつりあいや作用反作用の法則を確かめる実験に主体的に取り組んでいるか。 ・物体の運動状態は、受ける力とどのような関係にあるかについて興味・関心をもち、理解しようとしているか。 ・力学台車に力を加えるときの運動を調べる実験に主体的に取り組んでいるか。 	○	○	○	16
中間考査							
<p>運動の法則の適用</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・注目する物体に摩擦力はどの向きに現れるか、また最大摩擦力の大きさは2物体間の面の状態を表す静止摩擦係数μと、垂直抗力Nとの積で表されることを理解している。 ・静止摩擦係数を用いた力のつりあいの式を立てたり、動摩擦係数を用いた運動方程式を立てることができる。 ・静止摩擦係数がどのような量によって決まるのかを実験で調べられる。 ・圧力を求める式を理解している。 ・水圧を求める式を理解している。 ・水中にある物体にはどのような浮力がはたらくかを理解している。 ・浮力の大きさを実験で調べられる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物体にはたらく摩擦係数について説明できる。 ・水中にある物体には、どのような水圧が加わるか、またどのような浮力がはたらくかを正しく理解し、説明できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・摩擦がないときと比較するなどして、どのようなときに静止摩擦係数や動摩擦係数が現れるか、またそのときの物体の運動について、興味・関心をもち考えようとしている。 ・静止摩擦係数を調べる実験に主体的に取り組んでいる。 ・日常の現象などを通して、水中や空気中で圧力があることに興味を寄せ、それらの圧力はどのようにしてはかることができるか、そもそも圧力とは何か、ということを考えようとしている。 ・浮力の大きさを調べる実験に主体的に取り組んでいる。 	<p>1.摩擦を受ける運動 2.液体や気体から受ける力</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・注目する物体に摩擦力はどの向きに現れるか、また最大摩擦力の大きさは2物体間の面の状態を表す静止摩擦係数μと、垂直抗力Nとの積で表されることを理解しているか。 ・静止摩擦係数を用いた力のつりあいの式を立てたり、動摩擦係数を用いた運動方程式を立てることができるか。 ・静止摩擦係数がどのような量によって決まるのかを実験で調べられるか。 ・圧力を求める式を理解しているか。 ・水圧を求める式を理解しているか。 ・水中にある物体にはどのような浮力がはたらくかを理解しているか。 ・浮力の大きさを実験で調べられるか。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物体にはたらく摩擦係数について説明できるか。 ・水中にある物体には、どのような水圧が加わるか、またどのような浮力がはたらくかを正しく理解し、説明できるか。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・摩擦がないときと比較するなどして、どのようなときに静止摩擦係数や動摩擦係数が現れるか、またそのときの物体の運動について、興味・関心をもち考えようとしているか。 ・静止摩擦係数を調べる実験に主体的に取り組んでいるか。 ・日常の現象などを通して、水中や空気中で圧力があることに興味を寄せ、それらの圧力はどのようにしてはかることができるか、そもそも圧力とは何か、ということを考えようとしているか。 ・浮力の大きさを調べる実験に主体的に取り組んでいるか。 	○	○	○	9
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・剛体にはたらく力の合成や重心についてわかる。 ・いろいろな形の物体について、重心を計算したり実験によって調べることができる。 		<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・剛体にはたらく力の合成や重心についてわかっているか。 ・いろいろな形の物体について、重心を計算したり実験によって調べることができるか。 				

剛体の力学	<p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・力のモーメントのつり合いと、物体の重心について考えることができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・力のモーメントや重心などの考え方を、日常生活に結び付けて考えようとしている。 	剛体のつりあい	<p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・力のモーメントのつり合いと、物体の重心について考えることができるか。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・力のモーメントや重心などの考え方を、日常生活に結び付けて考えようとしているか。 	○	○	○	13
期末考査							
1学期配当時間計							
仕事と力学的エネルギー	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事、仕事率を計算して求めることができる。 ・物体に対して力がはたらいていても、仕事は0のときもあり、それがどのようなときであるかを理解している。 ・道具を使う場合と使わない場合の仕事を実際に計算して比較することにより、「仕事の原理」を理解している。 ・運動エネルギーが$\frac{1}{2}mv^2$であることを理解している。 ・重力による位置エネルギーを計算することができる。 ・弾性力による位置エネルギーを計算することができる。 ・物体が基準点まで移動するときに保存力がする仕事、位置エネルギーであることを確認できる。 ・重力による位置エネルギーを実験で調べることで、定性的に確認できる。 ・さまざまな物体の運動について、力学的エネルギー保存則を用いることができる。 ・振り子と速さ測定器を用いて、力学的エネルギー保存則を定量的に検証できている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物体に対して力がはたらいていても、仕事は0のときもあり、それがどのようなときであるかを説明できる。 ・「仕事の原理」を理解し、道具を用いたときに必要な仕事はどうなるかを説明できる。 ・運動エネルギーがどのようなものかを理解し、説明できる。 ・重力による位置エネルギー、弾性力による位置エネルギーについて説明することができる。 ・力学的エネルギー保存則を用いて、物体の運動を定性的に考えることができる。 ・力学的エネルギー保存則を用いて、運動する物体のもつ運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギーの変化のようすを説明することができる。 ・物体に保存力以外の力がはたらくとき、その仕事の量だけ物体の力学的エネルギーは変化することを理解し、物体の運動を考えることができる。 ・実験から得られた結果と力学的エネルギー保存則から理論的に求めた値を比較して考えることができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常で用いる「仕事」と物理で使う「仕事」の違いを理解し、物理でいうところの「仕事」について理解しようとしている。 ・運動している物体は、どのようなエネルギーをもっているかについて興味をもち、考えようとしている。 ・重力による位置エネルギーを調べる実験に主体的に取り組んでいる。 ・力学的エネルギー保存則について興味関心をもち、理解しようとしている。 ・力学的エネルギー保存則の実験に主体的に取り組んでいる。 	<p>1.仕事 2.運動エネルギー 3.位置エネルギー 4.力学的エネルギーの保存</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕事、仕事率を計算して求めることができるか。 ・物体に対して力がはたらいていても、仕事は0のときもあり、それがどのようなときであるかを理解しているか。 ・道具を使う場合と使わない場合の仕事を実際に計算して比較することにより、「仕事の原理」を理解しているか。 ・運動エネルギーが$\frac{1}{2}mv^2$であることを理解しているか。 ・重力による位置エネルギーを計算することができるか。 ・弾性力による位置エネルギーを計算することができるか。 ・物体が基準点まで移動するときに保存力がする仕事、位置エネルギーであることを確認できるか。 ・重力による位置エネルギーを実験で調べることで、定性的に確認できるか。 ・さまざまな物体の運動について、力学的エネルギー保存則を用いることができるか。 ・振り子と速さ測定器を用いて、力学的エネルギー保存則を定量的に検証できているか。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物体に対して力がはたらいていても、仕事は0のときもあり、それがどのようなときであるかを説明できるか。 ・「仕事の原理」を理解し、道具を用いたときに必要な仕事はどうなるかを説明できるか。 ・運動エネルギーがどのようなものかを理解し、説明できるか。 ・重力による位置エネルギー、弾性力による位置エネルギーについて説明することができるか。 ・力学的エネルギー保存則を用いて、物体の運動を定性的に考えることができるか。 ・力学的エネルギー保存則を用いて、運動する物体のもつ運動エネルギー、位置エネルギー、力学的エネルギーの変化のようすを説明することができるか。 ・物体に保存力以外の力がはたらくとき、その仕事の量だけ物体の力学的エネルギーは変化することを理解し、物体の運動を考えることができるか。 ・実験から得られた結果と力学的エネルギー保存則から理論的に求めた値を比較して考えることができるか。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常で用いる「仕事」と物理で使う「仕事」の違いを理解し、物理でいうところの「仕事」について理解しようとしているか。 ・運動している物体は、どのようなエネルギーをもっているかについて興味をもち、考えようとしているか。 ・重力による位置エネルギーを調べる実験に主体的に取り組んでいるか。 ・力学的エネルギー保存則について興味関心をもち、理解しようとしているか。 ・力学的エネルギー保存則の実験に主体的に取り組んでいるか。 	○	○	○	10

熱とエネルギー	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温度、熱運動、熱量、比熱、熱容量などが正しく理解されている。 ・熱量の保存について理解し、熱量保存の式を立てることができる。 ・物質が、固体→液体、液体→気体になる際の、熱のやりとりについて理解している。 ・顕微鏡を用いてブラウン運動の観察ができる。 ・水と加熱した銅の温度変化から銅の比熱を求めることができる。 ・仕事と熱の関係や熱力学第一法則【思考力、判断力、表現力等】 ・比熱の大きさから、物質の温まりやすさを類推できる。 ・温度や熱容量、比熱はどのような物理量か、自分の言葉で説明できる。 ・日常的な事象を、学習内容に照らし合わせて説明できる。 ・不可逆変化とはどのような変化かを説明できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものの温まりやすさなど、熱にかかわる現象について興味関心をもち、理解しようとしている。 ・熱と仕事の関係について興味関心をもち、理解しようとしている。 ・熱と仕事の実験に主体的に取り組んでいる。 	1.熱と物質の状態 2.熱と仕事	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温度、熱運動、熱量、比熱、熱容量などが正しく理解されているか。 ・熱量の保存について理解し、熱量保存の式を立てることができるか。 ・物質が、固体→液体、液体→気体になる際の、熱のやりとりについて理解しているか。 ・顕微鏡を用いてブラウン運動の観察ができるか。 ・水と加熱した銅の温度変化から銅の比熱を求めることができるか。 ・仕事と熱の関係や熱力学第一法則【思考・判断・表現】 ・比熱の大きさから、物質の温まりやすさを類推できるか。 ・温度や熱容量、比熱はどのような物理量か、自分の言葉で説明できるか。 ・日常的な事象を、学習内容に照らし合わせて説明できるか。 ・不可逆変化とはどのような変化かを説明できるか。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものの温まりやすさなど、熱にかかわる現象について興味関心をもち、理解しようとしているか。 ・熱と仕事の関係について興味関心をもち、理解しようとしているか。 ・熱と仕事の実験に主体的に取り組んでいるか。 	○	○	○	5
2 学期 波の性質	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・波の発生原理や基本事項を理解している。 ・縦波と横波の違いを理解している。 ・縦波を横波の形で表現できている。 ・縦波と横波の違いについて認識して、波を発生させることができる。 ・定在波の生じるしくみを理解している。 ・ウェーブマシンの実験・観察を通して、波の重ねあわせの原理や自由端・固定端での波の反射について理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・波の伝わるようすを、グラフで表現することができる。 ・波の基本事項について説明できる。 ・与えられた情報を正しく読み取り、問いに答えられている。 ・定在波を発生させる条件を正しく理解し、説明できる。 ・固定端と自由端での波の反射について、その違いを明確に説明できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な波の現象に興味をもち、波の発生原理や基本事項について理解しようとしている。 ・横波と縦波の実験に主体的に取り組んでいる。 ・波が衝突や反射するときどのようになるか、興味を持って、自分の考えを述べるができる。 	1.波と媒質の運動 2.重ねあわせの原理	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・波の発生原理や基本事項を理解しているか。 ・縦波と横波の違いを理解しているか。 ・縦波を横波の形で表現できているか。 ・縦波と横波の違いについて認識して、波を発生させることができるか。 ・定在波の生じるしくみを理解しているか。 ・ウェーブマシンの実験・観察を通して、波の重ねあわせの原理や自由端・固定端での波の反射について理解しているか。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・波の伝わるようすを、グラフで表現することができるか。 ・波の基本事項について説明できるか。 ・与えられた情報を正しく読み取り、問いに答えられているか。 ・定在波を発生させる条件を正しく理解し、説明できるか。 ・固定端と自由端での波の反射について、その違いを明確に説明できるか。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な波の現象に興味をもち、波の発生原理や基本事項について理解しようとしているか。 ・横波と縦波の実験に主体的に取り組んでいるか。 ・波が衝突や反射するときどのようになるか、興味を持って、自分の考えを述べるができるか。 	○	○	○	10
中間考査							

音の性質	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活での体験を通して、音の波としての性質を理解している。 うなりについて、音の干渉の知識を用いて定量的に扱うことができる。 音の波形をオシロスコープを用いて観察できる。 弦や気柱の振動と音の高さの関係について理解している。 モノコードにより弦の振動と音階の関係を確認でき、理解できている。 試験管を使って、気柱の振動と音階の関係を確認でき、理解できている。 気柱共鳴装置を用い、気柱の共鳴音からおんさの振動数を求めることができ、理解できている。 糸の長さを何種類かに変えた振り子で振り子の共振を観察することで、振り子の性質を理解できている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 音の特徴づける3つの要素について説明できる。 うなりとはどのような現象であるかを説明できる。 倍音とはどのような振動数の音であるかを説明できる。 複数のデータから、正しく推定できる。また、温度と気柱の長さの関係についてこれまで学んだ知識より類推できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 音に関する身近な問いかけについて、自分の考えを述べることができる。 身近な音の現象に興味をもち、基本事項について理解しようとしている。 音の波形の観察について、主体的に取り組んでいる。 弦楽器や管楽器について、どのようにして音の高さを変えているかについて、自分の考えを述べるができる。 音に関する問いかけについて、自分の言葉で表そうとしている。 弦や気柱の振動の実験や、振り子の共振の実験において、主体的に取り組んでいる。 	<p>1.音の性質 2.発音体の振動と共振・共鳴</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常生活での体験を通して、音の波としての性質を理解しているか。 うなりについて、音の干渉の知識を用いて定量的に扱うことができるか。 音の波形をオシロスコープを用いて観察できるか。 弦や気柱の振動と音の高さの関係について理解しているか。 モノコードにより弦の振動と音階の関係を確認でき、理解できているか。 試験管を使って、気柱の振動と音階の関係を確認でき、理解できているか。 気柱共鳴装置を用い、気柱の共鳴音からおんさの振動数を求めることができ、理解できているか。 糸の長さを何種類かに変えた振り子で振り子の共振を観察することで、振り子の性質を理解できているか。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 音の特徴づける3つの要素について説明できる。 うなりとはどのような現象であるかを説明できるか。 倍音とはどのような振動数の音であるかを説明できるか。 複数のデータから、正しく推定できる。また、温度と気柱の長さの関係についてこれまで学んだ知識より類推できるか。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> 音に関する身近な問いかけについて、自分の考えを述べることができるか。 身近な音の現象に興味をもち、基本事項について理解しようとしているか。 音の波形の観察について、主体的に取り組んでいるか。 弦楽器や管楽器について、どのようにして音の高さを変えているかについて、自分の考えを述べることができるか。 音に関する問いかけについて、自分の言葉で表そうとしているか。 弦や気柱の振動の実験や、振り子の共振の実験において、主体的に取り組む 	○	○	○	15
ドップラー効果	<p>【知識及び技能】</p> <p>音源が動く(観測者は静止)場合と、観測者が動く(音源は静止)場合とで、ドップラー効果が起きるしくみはどのように異なるかを理解している。また、音源が近づく場合と遠ざかる場合のドップラー効果についても理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>運動している音源から出た音の波面の、異なる時刻でのようすを図に描き表すことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>音のドップラー効果が身近なところで起きていることや、応用されていることに興味を抱き、調べようとする。</p>	1.ドップラー効果	<p>【知識・技能】</p> <p>音源が動く(観測者は静止)場合と、観測者が動く(音源は静止)場合とで、ドップラー効果が起きるしくみはどのように異なるかを理解している。また、音源が近づく場合と遠ざかる場合のドップラー効果についても理解しているか。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>運動している音源から出た音の波面の、異なる時刻でのようすを図に描き表すことができるか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>音のドップラー効果が身近なところで起きていることや、応用されていることに興味を抱き、調べようとするか。</p>	○	○	○	10
期末考査							
2学期配当時間計							45
幾何光学	<p>【知識及び技能】</p> <p>レンズと鏡の写像公式を理解し、式の運用ができる。</p> <p>光学台を用いて写像公式が成りたっていることを検証することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>レンズを通る代表的な3つの光線を描き、写像公式を導くことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>レンズを使うとなぜ物体が拡大・縮小されて見えたり、像を映したりできるのかについて、興味・関心がある。</p>	1.レンズと鏡	<p>【知識・技能】</p> <p>レンズと鏡の写像公式を理解し、式の運用ができるか。</p> <p>光学台を用いて写像公式が成りたっていることを検証することができるか。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>レンズを通る代表的な3つの光線を描き、写像公式を導くことができるか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>レンズを使うとなぜ物体が拡大・縮小されて見えたり、像を映したりできるのかについて、興味・関心があるか。</p>	○	○	○	6

学期	波動光学	<p>【知識及び技能】 光は進んでいくとき、反射、屈折、散 【思考力、判断力、表現力等】 ・物質中を通過するときの光の速さや波長は真空中に比べてどのようなになるか、また全反射はどのような条件を満たせば起こるかが説明できる。 ・ヤングの実験では、明線(暗線)の間隔の大小はどのような量に依存するかが理解できている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ・光速測定の歴史について、主体的に調べることができる ・シャボン玉の膜が色づいて見えること、回折格子により光の明暗の縞模様ができることについて興味を示している。</p>	<p>1.光の性質 2.水面波の回折・干渉 3.光の回折・干渉</p>	<p>【知識・技能】 光は進んでいくとき、反射、屈折、散 【思考・判断・表現】 ・物質中を通過するときの光の速さや波長は真空中に比べてどのようなになるか、また全反射はどのような条件を満たせば起こるかが説明できるか。 ・ヤングの実験では、明線(暗線)の間隔の大小はどのような量に依存するかが理解できているか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・光速測定の歴史について、主体的に調べることができる。 ・シャボン玉の膜が色づいて見えること、回折格子により光の明暗の縞模様ができることについて興味を示しているか。</p>	○	○	○	15	
		学年末考査							
								3学期配当時間計	21
								年間配当時間計	105

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等
		成績不振者に向けた課題を課す場合がある			成績不振者に向けた課題を課す場合がある		

都立新宿高等学校 令和6年度(2024年度) シラバス

教科:	理科	科目名:	生物基礎	講座名:	生物基礎
年次:	2年次	単位数:	3	区分:	必修
使用教科書・補助教材:	「高等学校 生物基礎」(第一学習社)「新課程版 セミナー生物基礎+生物」(第一学習社)「新課程二訂版 スクエア最新図説生物」(第一学習社)				
教科担当者:	渡邊 正治 今門 泰久 田中 真由紀				

科目(講座)の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
日常生活や社会との関連を図りながら、生物や生物現象について理解し、活用できるレベルで知識を身につける。 科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付ける。	生命や生命現象について、生物学的な視点で考え、表現する能力を身につける。 観察、実験などを行い、科学的に探究し、思考・表現する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

日常の学習方法

単に重要語句などを暗記するのではなく、用語の意味、各学習項目の要点、実験の概要と結果から何が言えるのかを説明できるように学習を進めてもらいたい。その際、図説を見ながら学習を進め、教科書や入試問題の説明文を読んだときにイメージ図が頭に浮かぶようになればベストである。授業内に考えながら知識・概念を獲得して欲しいので、復習中心でよいが、事前に教科書を読んでから授業を受けた方が理解が進むのであれば、予習をしても良い。

履修上の注意(発展科目との関連)

2年次に「生物基礎」を履修した上で、3年次理系クラスでは上位科目として「生物」を選択して履修することができる。「生物」は「生物基礎」の内容をさらに深めていくものになっているので、選択予定者は知識・概念をしっかりと身につけた上で、生物学的なものの方の見方、考え方ができるようになってもらいたい。「生物基礎」の教科書は「参考」や「発展」の内容まで含めて扱い、「生物」の内容を理解するための土台を築く。

年間授業計画

単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	生物の特徴 【知識及び技能】 生物と細胞について、その特徴やはたらきなどを理解しているとともに、それらの観察や実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 生物と細胞について、観察や実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見出して表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 生物と細胞の特徴に関する学習に主体的に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見直しをもって観察、実験を行ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする。	生物の多様性と共通性 生物の共通性の由来 生物とエネルギー 代謝とATP 代謝と酵素 呼吸と光合成	【知識及び技能】 生物と細胞について、その特徴やはたらきなどを理解しているとともに、それらの観察や実験などに関する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 生物と細胞について、観察や実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見出して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 生物と細胞の特徴に関する学習に主体的に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見直しをもって観察、実験を行ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	18
	遺伝子とその働き 【知識及び技能】 遺伝子とその働きについて、その特徴やはたらきなどを理解しているとともに、それらの観察や実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 遺伝子とその働きについて、観察や実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見出して表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 遺伝子とその働きに関する学習に主体的に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見直しをもって観察、実験を行ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする。	遺伝情報とDNA DNAの複製と分配 遺伝情報とタンパク質 転写と翻訳 遺伝子とゲノム	【知識及び技能】 遺伝子とその働きについて、その特徴やはたらきなどを理解しているとともに、それらの観察や実験などに関する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 遺伝子とその働きについて、観察や実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見出して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 遺伝子とその働きに関する学習に主体的に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見直しをもって観察、実験を行ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	21
1学期配当時間計							39
2 学期	神経系と内分泌系による調節 【知識及び技能】 神経系と内分泌系による調節について、その特徴やはたらきなどを理解しているとともに、それらの観察や実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 神経系と内分泌系による調節について、観察や実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見出して表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 神経系と内分泌系による調節に関する学習に主体的に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見直しをもって観察、実験を行ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする。	恒常性と神経系 恒常性と内分泌系 体内環境を調節するしくみ 血液凝固	【知識及び技能】 神経系と内分泌系による調節について、その特徴やはたらきなどを理解しているとともに、それらの観察や実験などに関する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 神経系と内分泌系による調節について、観察や実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見出して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 神経系と内分泌系による調節に関する学習に主体的に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見直しをもって観察、実験を行ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	24
	免疫 【知識及び技能】 免疫について、その特徴やはたらきなどを理解しているとともに、それらの観察や実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 免疫について、観察や実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見出して表現できる。 【学びに向かう力、人間性等】 免疫に関する学習に主体的に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見直しをもって観察、実験を行ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする。	生体防御 自然免疫 獲得免疫 自然免疫と獲得免疫の特徴 免疫と生活	【知識及び技能】 免疫について、その特徴やはたらきなどを理解しているとともに、それらの観察や実験などに関する技能を身に付けている。 【思考力、判断力、表現力等】 免疫について、観察や実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見出して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 免疫に関する学習に主体的に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見直しをもって観察、実験を行ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	21
2学期配当時間計							45

3 学 期	植生と遷移	<p>【知識及び技能】 植生と遷移について、その特徴やはたらきなどを理解しているとともに、それらの観察や実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 植生と遷移について、観察や実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見出して表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 植生と遷移に関する学習に主体的に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする。</p>	植生と環境の関わり 遷移のしくみ 遷移とバイオーム	<p>【知識及び技能】 植生と遷移について、その特徴やはたらきなどを理解しているとともに、それらの観察や実験などに関する技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 植生と遷移について、観察や実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見出して表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 植生と遷移に関する学習に主体的に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	12
	生態系とその保全	<p>【知識及び技能】 生態系とその保全について、その特徴やはたらきなどを理解しているとともに、それらの観察や実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生態系とその保全について、観察や実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見出して表現できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生態系とその保全に関する学習に主体的に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとする。</p>	生態系の成り立ち 生態系における生物どうしの関わり 生態系と生物の多様性 生態系のバランスと保全	<p>【知識及び技能】 生態系とその保全について、その特徴やはたらきなどを理解しているとともに、それらの観察や実験などに関する技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生態系とその保全について、観察や実験などを通して探究し、多様な生物がもつ共通の特徴を見出して表現している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生態系とその保全に関する学習に主体的に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行ったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	9
3学期配当時間計								21
年間配当時間計								105

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等
		成績不振者に向けた課題を課す場合がある			成績不振者に向けた課題を課す場合がある		

	<p>【知識及び技能】</p> <p>技ができる楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、自己に適した技で演技すること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>技などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>器械運動に自主的に取り組むとともに、よい演技を講えようとする、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>器械運動と、以下の球技①の2種目を合わせた3種目の中から1つ選択</p> <p>・マット運動</p>	<p>【知識及び技能】□</p> <p>技ができる楽しさや喜びを味わい、技の名称や行い方、運動観察の方法、体力の高め方などを理解するとともに、自己に適した技で演技することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>技などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることできる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>器械運動に自主的に取り組むとともに、よい演技を講えようとする、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保することができる。</p>	○	○	○	12
2 学 期	<p>【知識・技能】</p> <p>技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解する。 ネット型(バレーボール)では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすること。 ベースボール型(ソフトボール)では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすること。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>生涯にわたって運動を豊かに持続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>以下の球技①の2種目、もしくは上記器械運動と合わせた3種目の中から1つ選択</p> <p>・バレーボール ・ソフトボール</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ネット型(バレーボール)では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。 ベースボール型(ソフトボール)では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃、安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防をすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>生涯にわたって運動を豊かに持続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	9
	<p>【知識・技能】</p> <p>技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解する。 ネット型(卓球)では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすること。 ゴール型(サッカー、バスケットボール)では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすること。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>生涯にわたって運動を豊かに持続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>以下の種目から1つ選択②</p> <p>・バスケットボール ・卓球 ・サッカー</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。 ネット型(卓球)では、状況に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防をすることができる。 ゴール型(サッカー、バスケットボール)では、状況に応じたボール操作と空間を埋めるなどの動きによって空間への侵入などから攻防をすることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>生涯にわたって運動を豊かに持続するためのチームや自己の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて取り組み方を工夫するとともに、自己やチームの考えたことを他者に伝えることができている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする、合意形成に貢献しようとする、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとする、互いに助け合い高め合おうとすることなどをしたり、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	9

都立新宿高等学校 令和6年度(2024年度) シラバス

教科:	保健体育		科目名:	保健		講座名:	保健(2年)	
年次:	2年次	単位数:	1	区分:	必修	形態:	クラス単位	
使用教科書・補助教材:	新 高等 保健体育(大修館書店)							
教科担当者:	田久保 裕之、伊東 龍司、田中 柊彩							

科目(講座)の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯を通じる健康及び健康を支える環境づくりの保持増進や回復には、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理および環境づくりが関わっていることを理解している。	生涯を通じる健康及び健康を支える環境づくりに関する情報から課題を発見し、健康に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。	生涯を通じる健康及び健康を支える環境づくりに関する学習に主体的に取り組んでいる。

日常の学習方法

1学期は講義形式を中心として、テーマに対して自分の考えをまとめたり、それをグループで共有したりする。2学期以降は、生徒による研究発表形式の授業と講義を同時進行で行う。健康について、社会に出たとき、日常生活に結び付けて考えられるようになることを目的としている。

履修上の注意(発展科目との関連)

必修科目であり、1年次から引き続き学ぶ内容となっている。

年間授業計画

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	生涯を通じる健康	【知識及び技能】 生涯を通じる健康について理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康について課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。	1 思春期と健康 2 性意識の変化と性行動の選択 3 結婚生活と健康 4 妊娠・出産と健康 5 家族計画 6 加齢と健康 7 高齢社会に対応した取り組み	【知識及び技能】 生涯を通じる健康について理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	13
		1学期配当時間計						
2 学 期	生涯を通じる健康 健康を支える環境づくり	【知識及び技能】 生涯を通じる健康及び健康を支える環境づくりについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康及び健康を支える環境づくりについて、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて健康の保持増進や回復を目指す実践力を育てることによって、生徒が現在及び将来の生活を健康で活力に満ちた明るく豊かなものにする。	8 働くことと健康 9 労働災害の防止 10 働く人の環境づくり 1 大気汚染と健康 2 水質汚濁・土壌汚染と健康 3 健康被害を防ぐための環境対策 4 環境衛生に関わる活動 5 食品の安全性と健康 6 食品の安全性を確保する取組	【知識及び技能】 生涯を通じる健康及び健康を支える環境づくりについて理解を深めている。 【思考力、判断力、表現力等】 生涯を通じる健康及び健康を支える環境づくりについて、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断するとともに、それらを表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営むための学習に主体的に取り組もうとしている。	○	○	○	15
		2学期配当時間計						

都立新宿高等学校 令和6年度(2024年度) シラバス

教科:	芸術		科目名:	音楽Ⅱ		講座名:	音楽Ⅱ	
年次:	2年次	単位数:	2	区分:	自由選択	形態:	選択者	
使用教科書・補助教材:	ON! 2 (音楽之友社)							
教科担当者:	千原 卓也							

科目(講座)の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
「音楽Ⅰ」で学習した内容について、さらなる知識と技能の獲得に努める。演奏作品のリズム、旋律、和声、楽式、内容等について正しく理解をする。演奏技術の向上をめざす。演奏のための準備や練習計画を具体的に、より効果的な演奏となるよう努める。	練習の過程においても音楽的なすばらしさや美しさを理解して取り組む。独唱(奏)や合唱(奏)等、編成に適した音色、時間的な“間”等、作品の調和について考え、創造的な表現をめざす。繰り返しの練習や工夫を加え、作品にふさわしいより一層豊かな音楽表現を追究する。人を感動させられる音楽や演	自らの感性を高め、主体的に音楽表現活動に取り組む。 作品の練習過程における自身の演奏について、求める表現に至っていないと感じる部分や要素をしっかりと認識する。さらにより良い作品に仕上げようとする意欲を持ち、具体的な対応を工夫する。

日常の学習方法

履修生徒が少ないので、個人、またはグループでの活動となる。組み合わせを変えたグループを作り、編成についての変化をつける。 声楽、器楽を軸に活動をする。 学習のまとめとして発表会を行い実技発表とするとともに、お互いの演奏を聴き合う。

履修上の注意(発展科目との関連)

個人においては、演奏技術の向上を目指す。 他の演奏者と演奏する上での調和を保ちながら音楽表現を広げていく。 自発的な継続した取り組みと、よりよい作品を希求する意識を絶えず持ちながら学習に取り組む。 音楽Ⅱで経験した音楽活動をふまえて個人の技術の向上と、知識を掘り下げを行う。自由選択科目の音楽Ⅲでは、専門的な音楽作品への学習につなげていく。

年間授業計画

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	歌唱	【知識及び技能】 リズム、旋律、和声、内容等の作品理解、および演奏に必要なとする技術を獲得する。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽を構成する基礎的な要素が正しく、美しく反映されているか判断できる。ふさわしくない表現についての修正や、修正ための練習ができるように 【学びに向かう力、人間性等】 作品ができあがってゆく過程を理解する。主体的に音楽表現活動に取り組む、豊かな表現を追究する。	発声 音程練習 音階練習 和音練習 リズム打ち 独唱 重唱	【知識・技能】 リズム、旋律を正しく理解し、再現できる。歌詞を理解して歌うことができる。和声を感じることができる。 【思考・判断・表現】 美しい発声ができる。合理的な練習と作品にふさわしい音楽表現ができる。音楽性豊かな演奏ができる。伴奏者と心の合った演奏ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 歌を歌う意欲に溢れている。美しい発声を意識している。より良い演奏を練習の段階から心掛けて活動している。	○	○	○	6
	器楽	【知識及び技能】 リズム、旋律、和声、内容等の作品理解、および演奏に必要なとする技術を獲得する。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽構成、和声、音色、時間的な“間”等について考え、作品にふさわしい音楽表現をする。 【学びに向かう力、人間性等】 作品ができあがってゆく過程を理解する。主体的に音楽表現活動に取り組む、豊かな表現を追究する。	キーボード 器楽アンサンブル(重奏)	【知識・技能】 リズム、旋律を正しく理解し、再現できる。音程やピッチを正しく整えることができる。和声を感じることができる。 【思考・判断・表現】 楽器の持つ美しい発音ができる。合理的な練習と作品にふさわしい音楽表現ができる。音楽性豊かな演奏ができる。 他の演奏者と調和のとれた演奏がで 【主体的に学習に取り組む態度】 練習をする意欲に溢れている。美しい発音を意識している。より良い演奏を練習の段階から心掛けて活動してい	○	○	○	6
	歌唱	【知識及び技能】 リズム、旋律、和声、内容等の作品理解、および演奏に必要なとする技術を獲得する。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽構成、和声、音色、時間的な“間”等について考え、作品にふさわしい音楽表現をする。 【学びに向かう力、人間性等】 作品ができあがってゆく過程を理解する。主体的に音楽表現活動に取り組む、豊かな表現を追究する。	発声 正確なリズムの理解と表現 旋律の理解と表現 他言語の発音の理解と演奏 歌詞の内容理解と表現 作品構造の理解	【知識・技能】 リズム、旋律を正しく理解し、再現できる。歌詞を理解して歌うことができる。和声を感じることができる。 【思考・判断・表現】 美しい発声ができる。合理的な練習と作品にふさわしい音楽表現ができる。音楽性豊かな演奏ができる。伴奏者と心の合った演奏ができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 歌を歌う意欲に溢れている。美しい発声を意識している。より良い演奏を練習の段階から心掛けて活動している。	○	○	○	8
	器楽	【知識及び技能】 リズム、旋律、和声、内容等の作品理解、および演奏に必要なとする技術を獲得する。 【思考力、判断力、表現力等】 音楽構成、和声、音色、時間的な“間”等について考え、作品にふさわしい音楽表現をする。 【学びに向かう力、人間性等】 作品ができあがってゆく過程を理解する。主体的に音楽表現活動に取り組む、豊かな表現を追究する。	ギター 器楽アンサンブル(重奏)	【知識・技能】 リズム、旋律を正しく理解し、再現できる。音程やピッチを正しく整えることができる。和声を感じることができる。 【思考・判断・表現】 楽器の持つ美しい発音ができる。合理的な練習と作品にふさわしい音楽表現ができる。音楽性豊かな演奏ができる。 他の演奏者と調和のとれた演奏がで 【主体的に学習に取り組む態度】 練習をする意欲に溢れている。美しい発音を意識している。より良い演奏を練習の段階から心掛けて活動してい	○	○	○	6
			中間考査					
			期末考査					
					1学期配当時間計			26

都立新宿高等学校 令和6年度(2024年度) シラバス

教科:	芸術		科目名:	美術Ⅱ		講座名:	美術Ⅱ	
年次:	2・3年次	単位数:	2	区分:	自由選択	形態:	選択者	
使用教科書・補助教材:	美術2(光村図書)							
教科担当者:	大竹 美美子							

科目(講座)の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、個性豊かで創造的に表すことができるようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し個性豊かに発想し構想を練ったり、自己の価値観を高めて美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	主体的に美術の創造的な諸活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに感性と美意識を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

日常の学習方法

主として作品制作を行う。

履修上の注意(発展科目との関連)

美術Ⅰで学んだ内容を基礎として、自由選択科目の美術Ⅱ以降では、平面の応用的な表現や立体表現等について学習する。

年間授業計画

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数
					○	○	○	
1 学期	肖像画「その人らしさを表す」	<p>【知識及び技能】 調べたことを基に、画面構成、色彩計画、画材選択を行わせ、その人物の肖像画を創造的に表現させる</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 調べたことを基に、その人物を表すような画面構成、色彩計画などの構想を練らせる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く取り組み、自分で学習を調整させる</p>	任意の人物について背景や思想を調べ、その人物を表すモチーフを加えた肖像画制作を行う。B3パネル・画材は自由。	<p>【知識・技能】 調べたことを基に、画面構成、色彩計画、画材選択を行わせ、その人物の肖像画を創造的に表現できている</p> <p>【思考・判断・表現】 調べたことを基に、その人物を表すような画面構成、色彩計画などの構想を練っているか</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く取り組み、自分で学習を調整しているか</p>	○	○	○	13
	小冊子制作「自分の好きなものを表す」	<p>【知識及び技能】 自分の好きなもの・ことを調べ、自由な表現形式で、小冊子に表現させる</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自由な表現形式の特性を生かし、創造的な表現の構想を練らせる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く取り組み、自分で学習を調整させる</p>	自分の好きなもの・ことについて調べ、他者に伝わるように、自由な表現形式で小冊子に表現を行う。	<p>【知識・技能】 自分の好きなもの・ことを調べ、自由な表現形式で、小冊子に表現できているか</p> <p>【思考・判断・表現】 自由な表現形式の特性を生かし、創造的な表現の構想を練っているか</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く取り組み、自分で学習を調整しているか</p>	○	○	○	13
26								
2 学期	抽象彫刻「編む・組む・結ぶ 紙バンド」	<p>【知識及び技能】 紙バンドの特性を理解させ、様々な表現形式を思考錯誤させ、創造的に表</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 紙バンドの表現形式の特性を生かし、創造的な表現の構想を練らせる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く取り組み、自分で学習を調整させる</p>	紙バンドという軟らかい素材から、編む・組む・結ぶという技法を使って、自由な立体作品制作を行う。	<p>【知識・技能】 紙バンドの特性を理解させ、様々な表現形式を思考錯誤させ、創造的に表</p> <p>【思考・判断・表現】 紙バンドの表現形式の特性を生かし、創造的な表現の構想を練っているか</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く取り組み、自分で学習を調整しているか</p>	○	○	○	18
	平面構成「任意のモチーフで平面構成を行う」	<p>【知識及び技能】 対象の造形的な視点について理解を深め、絵の具の特性を生かして表現するための技能を身に付けさせる</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 任意のモチーフにある特性や良さ、面白さに気づき、表現の構想を練らせる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く取り組み、自分で学習を調整させる</p>	水彩による空間表現を学ぶ。制作の手順を理解し、計画を立てる。 ・全体のバランスを見ながら、着色を進める。	<p>【知識・技能】 対象の造形的な視点について理解を深め、絵の具の特性を生かして表現するための技能を身に付けているか</p> <p>【思考・判断・表現】 任意のモチーフにある特性や良さ、面白さに気づき、表現の構想を練っているか</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く取り組み、自分で学習を調整しているか</p>	○	○	○	12
2学期配当時間計 30								

3 学 期	デザイン 「問題を解 決するパッ ケージデザ イン」	<p>【知識及び技能】 既存のパッケージから、多角的な視点 で問題点を見つけ、解決策を見つけ、 表現させる</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 既存のパッケージから問題点を見つ け、具体的な解決策の構想を練らせる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く取り組み、自分で学習を調整 させる</p>	<p>既存のパッケージを観察し、問題点を あげ、それを解決するパッケージでサ インを考え、ボードにまとめ、プレゼン テーションを行う。</p>	<p>【知識・技能】 既存のパッケージから、多角的な視点 で問題点を見つけ、解決策を見つけ、 表現できているか</p> <p>【思考・判断・表現】 既存のパッケージから問題点を見つ け、具体的な解決策の構想を練ってい るか</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く取り組み、自分で学習を調整 しているか</p>	○	○	○	14
		3学期配当時間計						
年間配当時間計							70	

都立新宿高等学校 令和6年度(2024年度) シラバス

教科:	外国語		科目名:	英語コミュニケーションⅡ	講座名:	英語コミュニケーションⅡ	
年次:	2年次	単位数:	4	区分:	必修	形態:	クラス単位
使用教科書・補助教材:	『Crossroads2』『Cutting edge blue』『ユメリー1』『必携英単語LEAP』						
教科担当者:	奥村・桑波田・杉山・田中(利)						

科目(講座)の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
正しい発音を習得し、語彙力を増強し、また辞書や参考書を使いこなし、まとまった英語を自分の力で読解する能力、聴き取る能力を高める。文法事項を正しく理解する。	自分の考えや伝えたいことを、英語で話したり書いたりして表現できる力を養う。理解した文法事項を正しく理解し使いこなせるようにする。	外国語の文化背景を積極的に理解し表現しようとしている。学習に見通しを持ち、自らを振り返り調整しながら学ぼうとしている。

日常の学習方法

※別紙参照 及び各授業担当者より説明

履修上の注意(発展科目との関連)

英文読解力の育成 : 多読、速読を行い、英文の概要を把握するような読解ストラテジーを身に付ける。他方、難解な英文は特に精読を行い、正確な情報を得るために必要な文法や文構造の知識を身に付ける。理解した英文は音読やパターンプラクティス等を行うことで、英語を定着させ、活用する力を身に付ける。 外部試験対策(GTEC) : 夏期休業中に課題を実施する。一方、毎日の授業が、外部試験の結果にもつながることを理解して学習に取り組む。
--

年間授業計画

単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数
1学	【知識及び技能】 正しい発音を習得し、語彙力を増強し、また辞書や参考書を使いこなし、まとまった英語を自分の力で読解する能力、聴き取る能力を高める。文法事項を正しく理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり自分の意見を表現したりすることができる。関連テーマを読んで理解することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり振り返ったりして、調整しながら学ぼうとする。	『Crossroads 2』Unit 1 『Cutting edge blue』Chapter1,2,4	【知識・技能】 本文の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 本文の内容に関して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し、学習の仕方を自ら考えている。	○	○	○	20
	【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして理解することができ、また外国人講師による英語を理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり自分の意見等を英語で外国人講師に伝えたりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 エッセイライティング等に向け能動的に準備し、また振り返りながら学ぼうとしている。	『スマートコレクション Advanced』Lesson5	【知識・技能】 本文の内容を理解している。 【思考・判断・表現】 本文の内容に関して表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し、学習の仕方を自ら考えている。	○	○	○	6
中間査							

期	<p>【知識及び技能】</p> <p>正しい発音を習得し、語彙力を増強し、また辞書や参考書を使いこなし、まとまった英語を自分の力で読解する能力、聴き取る能力を高める。文法事項を正しく理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>本文の内容を英語で書いたり自分の意見を表現したりすることができる。関連テーマを読んで理解することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>自身の学習の見通しを立てたり振り返ったりして、調整しながら学ぼうとする。</p>	<p>『Crossroads 2』Unit 4 『Cutting edge blue』Chapter6,7,8</p> <p>『Crossroads 2』Unit 4 『Cutting edge blue』Chapter6,7,8 ユメリー 6~10 必携英単語LEAP</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>本文の内容を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>本文の内容に関して表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>能動的に学習し、学習の仕方を自ら考えている。</p>	○	○	○	22	
	<p>【知識及び技能】</p> <p>本文の英語を聞いたり読んだりして理解することができ、また外国人講師による英語を理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>本文の内容を英語で書いたり自分の意見等を英語で外国人講師に伝えたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>エッセイライティング等に向け能動的に準備し、また振り返りながら学ぼうとしている。</p>	<p>『スマートコレクション Advanced』Lesson6</p> <p>『スマートコレクション Advanced』Lesson6</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>本文の内容を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>本文の内容に関して表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>能動的に学習し、学習の仕方を自ら考えている。</p>	○	○	○	4	
	期末考査							1学期配当時間計
期	<p>【知識及び技能】</p> <p>正しい発音を習得し、語彙力を増強し、また辞書や参考書を使いこなし、まとまった英語を自分の力で読解する能力、聴き取る能力を高める。文法事項を正しく理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>本文の内容を英語で書いたり自分の意見を表現したりすることができる。関連テーマを読んで理解することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>自身の学習の見通しを立てたり振り返ったりして、調整しながら学ぼうとする。</p>	<p>『Crossroads 2』Unit 5 『Cutting edge blue』Chapter9,10,12</p> <p>『Crossroads 2』Unit 5 『Cutting edge blue』Chapter9,10,12 ユメリー 11~15 必携英単語LEAP</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>本文の内容を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>本文の内容に関して表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>能動的に学習し、学習の仕方を自ら考えている。</p>	○	○	○	24	
	<p>【知識及び技能】</p> <p>本文の英語を聞いたり読んだりして理解することができ、また外国人講師による英語を理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>本文の内容を英語で書いたり自分の意見等を英語で外国人講師に伝えたりすることができる。</p>	<p>『スマートコレクション Advanced』Lesson6</p> <p>『スマートコレクション Advanced』Lesson6</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>本文の内容を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>本文の内容に関して表現できる。</p>	○	○	○	8	

2 学 期	【学びに向かう力、人間性等】 エッセイライティング等に向け能動的に準備し、また振り返りながら学ぼうとしている。		【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し、学習の仕方を自ら考えている。					
	中間考査							
	<p>【知識及び技能】 正しい発音を習得し、語彙力を増強し、また辞書や参考書を使いこなし、まとまった英語を自分の力で読解する能力、聴き取る能力を高める。文法事項を正しく理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり自分の意見を表現したりすることができる。関連テーマを読んで理解することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり振り返ったりして、調整しながら学ぼうとする。</p>	<p>【知識・技能】 本文の内容を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 本文の内容に関して表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し、学習の仕方を自ら考えている。</p>	『Crossroads 2』Unit 6 『Cutting edge blue』Chapter13,14	『Crossroads 2』Unit 6 『Cutting edge blue』Chapter13,14 ユメリー 16~20 必携英単語LEAP	○	○	○	20
	<p>【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして理解することができ、また外国人講師による英語を理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり自分の意見等を英語で外国人講師に伝えたりすることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 エッセイライティング等に向け能動的に準備し、また振り返りながら学ぼうとしている。</p>	<p>【知識・技能】 本文の内容を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 本文の内容に関して表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し、学習の仕方を自ら考えている。</p>	『スマートコレクション Advanced』Lesson4	『スマートコレクション Advanced』Lesson4	○	○	○	8
期末考査								
2学期配当時間計							60	
3 学 期	<p>【知識及び技能】 正しい発音を習得し、語彙力を増強し、また辞書や参考書を使いこなし、まとまった英語を自分の力で読解する能力、聴き取る能力を高める。文法事項を正しく理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 本文の内容を英語で書いたり自分の意見を表現したりすることができる。関連テーマを読んで理解することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自身の学習の見通しを立てたり振り返ったりして、調整しながら学ぼうとする。</p>	<p>【知識・技能】 本文の内容を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 本文の内容に関して表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 能動的に学習し、学習の仕方を自ら考えている。</p>	『Crossroads 2』Unit 7 『Cutting edge blue』Chapter17,18	『Crossroads 2』Unit 7 『Cutting edge blue』Chapter17,18 共通テスト対策Reading HOPE 必携英単語LEAP	○	○	○	22
	<p>【知識及び技能】 本文の英語を聞いたり読んだりして理解することができ、また外国人講師による英語を理解できる。</p>	<p>【知識・技能】 本文の内容を理解している。</p>						

都立新宿高等学校 令和5年度(2023年度) シラバス

教科:	外国語		科目名:	論理・表現Ⅱ		講座名:	論理・表現Ⅱ	
年次:	2年次	単位数:	2	区分:	必履修	形態:	習熟度別	
使用教科書・補助教材:	MAINSTREAM Logic & Expression Ⅱ / Brekthrough 36 Grammar Lesson / est英作文 / Write to the Point / 必携英語表現数 / Vision Quest Ultimate / ALL-EARS Pre-Advanced / Listening Ace 10 Upgraded / Reps英文法・語法問題集							
教科担当者:	奥村 / 桑波田 / 杉山 / 村上							

科目(講座)の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<ul style="list-style-type: none"> 基本的な文法事項を押さえながら、問題演習を繰り返し、応用力の養成を目指す。 基本的な文法や英文の構造を理解した上で、「読む・聞く・話す・書く」4技能を高めるために問題演習を繰り返し、応用力の養成を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 学習したボキャブラリー、文法や構文を使って、発展的な英文を書くことができる。 学習したことを応用して、自分の意見やテーマに沿った内容を書いたり話したりすることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成する。 学習した語彙や文法を素地として、論理の展開や表現の方法を工夫しながら伝え合う能力を養う。 小テストや課題に計画的に取り組むことで、主体的に学ぶ姿勢を養う。

日常の学習方法

<ul style="list-style-type: none"> 詳細は、ガイダンスおよび各講座担当より説明する。 Repsでは、1学年で学習した文法・語法の基本的事項を復習しつつ、応用力を養成する。est英作文とWrite to the Pointでは、既習事項を自由に使えるように、文法事項を多種織り交ぜて英訳・英作文をすることで、知識のさらなる定着と応用力を固める。「Reps英文法・語法問題集」は主として家庭学習用とし、応用力を養う。

履修上の注意(発展科目との関連)

<p>下記の目標を達成するために、能動的に授業に参加すること。</p> <p>① 文法事項に関する問題演習 基本的構文を理解した上で応用力を養成し、正しい文を書く力を養うと同時に、熟語・構文を駆使して英語の表現力をつける。</p> <p>② 英訳文および英作文 国立大学2次試験と私大上位校の英訳文・自由英作文に対応できるように、基礎力から応用力へと発展させる。</p>

年間授業計画

	単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	様々な構文 (2)・名詞・代名詞・形容詞・副詞・前置詞	【知識及び技能】 1. 接続詞・副詞・疑問詞の基本を解する 2. 文型の問題演習で応用力を養う	【文法・語法・表現: Breakthrough】 様々な構文(2)・名詞・代名詞・形容詞・副詞・前置詞 【MAINSTREAM】 Lesson 7 【Reps英文法・語法】 Chapter 1-3 【必携英語表現集】 5-12	【知識・技能】 名詞・代名詞・形容詞・副詞・前置詞の基本について理解しているか				13	
		【思考力、判断力、表現力等】 1. 接続詞・副詞・疑問詞を正しく使えるようにする 2. 文型を正しく使えるようにする		【思考・判断・表現】 名詞・代名詞・形容詞・副詞・前置詞を正しく使って表現できているか	○	○	○		
	【学びに向かう力、人間性等】 ・接続詞・副詞・疑問詞・文型を正しく使って表現しようとする	【主体的に学習に取り組む態度】 名詞・代名詞・形容詞・副詞・前置詞を正しく使って表現しようとしているか							
		中間考査							
	文型・修飾語・時制	【知識及び技能】 文型に関する知識を復習・定着させる	【est英作文】 1-8 文型/関係詞・分詞・不定詞・同格・時制 【MAINSTREAM】 Lesson 9 【Reps 文法・語法】 Chapter 4-6 【必携英語表現集】 13-20	【知識・技能】 文型・関係詞・分詞・不定詞・同格・時制に関する知識が定着したか				13	
【思考力、判断力、表現力等】 文型に関する知識を復習・定着させる		【思考・判断・表現】 文型を正しく使って英訳文・作文できているか		○	○	○			
	【学びに向かう力、人間性等】 文型・既習事項等を使って適切に表現しようとする	【主体的に学習に取り組む態度】 文型を正しく使って表現しようとしているか							
		期末考査							
								1学期配当時間計	26

2 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <p>時制・態・助動詞の問題演習で応用力を養う</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>時制・態・助動詞を正しく使えるようにする</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>時制・態・助動詞の問題演習を正しく使って表現しようとする</p>	<p>【est英作文】1-8 時制・助動詞・受動態・比較・時の表現 【MAINSTREAM】 Lesson 12 【Reps 文法・語法】 Chapter 15-16 【必携英語表現集】19-30</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>時制・助動詞・受動態・比較・時の表現の基本について理解しているか</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>時制・助動詞・受動態・比較・時の表現を正しく使って表現できているか</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>時制・助動詞・受動態・比較・時の表現詞を正しく使って表現しようとしているか</p>	○	○	○	15	
	中間考査							
	<p>【知識及び技能】</p> <p>時制・助動詞・条件・仮定・態に関する知識を復習・定着させる</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>時制・助動詞・条件・仮定・態を用いて英作・英訳文を書く</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>時制・助動詞・条件・仮定・態を用いて英作・英訳文を書くを使って適切に表現しようとする</p>	<p>【est 英作文】15-20 原因理由/仮定・条件/否定 /譲歩/ 程度結果 【MAINSTREAM】 ・姓が先か名が先か？ 【Reps】 17-ランダム 【必携英語表現集】 31-40</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>原因理由/仮定・条件/否定 /譲歩/ 程度結果に関する知識が定着したか</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>原因理由/仮定・条件/否定 /譲歩/ 程度結果の基本を理解しているか</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>原因理由/仮定・条件/否定 /譲歩/ 程度結果を正しく使って表現しようとしているか</p>	○	○	○	15	
期末考査								
2学期配当時間計							30	
3 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <p>1. 仮定法の問題演習で応用力を養う 2. 動詞周辺(不定詞・動名詞・分詞・動詞イディオム)の問題演習で応用力を養う</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>1 仮定法を正しく使えるようにする 2. 動詞周辺(不定詞・動名詞・分詞・動詞イディオム)を正しく使えるようにする</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>・仮定法、動詞周辺(不定詞・動名詞・分詞・動詞イディオム)を正しく使って表現しようとする</p>	<p>【Write to the Point】1-8 主語の決定・時制・動詞・関係詞 【MAINSTREAM】 Should English Be our official language? 【Reps】 22-第6回ランダム 【必携英語表現集活用ノート】1-6</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>時制・動詞・関係詞の基本について理解しているか</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>・仮定法、動詞周辺(不定詞・動名詞・分詞・動詞イディオム)を正しく使って表現できているか</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>・仮定法、動詞周辺(不定詞・動名詞・分詞・動詞イディオム)を正しく使って表現しようとしているか</p>	○	○	○	14	
	学年末考査							
3学期配当時間計							14	
年間配当時間計							70	

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春)実施範囲等	1学期実力テスト実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏)実施範囲等	2学期実力テスト実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬)実施範囲等	3学期実力テスト実施範囲等
別紙にて指示	単語・文法 長文読解・リスニング	夏季休業期間中課題 夏季講習実施 ①発展講習 ②基礎講習 ③指名者対象講習 ④4技能試験対策講習	別紙にて指示	単語・文法 長文読解・リスニング	冬季休業期間中課題	別紙にて指示	単語・文法 長文読解・リスニング

都立新宿高等学校 令和6年度(2024年度) シラバス

教科:	家庭		科目名:	家庭基礎		講座名:	
年次:	2年次	単位数:	2	区分:	必修	形態:	クラス単位
使用教科書・補助教材:	家庭基礎 持続可能な未来をつくる(第一学習社) ・ 最新生活ハンドブック 資料&成分表(第一学習社)						
教科担当者:	村田 雅子						

科目(講座)の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、社会の関わりについて理解を深め、生活を主体的に営むために必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解するとともに、それらに関わる技能を身につける。	自分の意見をしっかりと持ち、生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題点を見だし、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を養う。	学習した知識や技能をもとに、さまざまな人々と協働し、より良い社会の構築の向けて課題の解決に主体的に取り組み、振り返って改善したり、地域社会に参画しようとするとともに、自分の家庭、地域の生活について考えを深める。

日常の学習方法

生活の営みに係わる見方・考え方を働かせ、授業で学習した知識や技能をどのように実生活に生かせるかを考え、実践的・体験的な学習活動を積極的に行う。自分の生活に関心を持ち、他者の意見を聞く中で自身の考え方を深める。
--

履修上の注意(発展科目との関連)

--

年間授業計画

単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数
これからの 生き方と家 族～生涯の 生活設計	【知識及び技能】 ライフステージ、生涯発達、青年期の特徴を理解し自立とは何かを考える。自分の目指すライフスタイルについて理解を深める。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の生き方についての課題を解決するために思考・判断ができる。日常のさまざまな出来事に課題意識を持ち、男女平等の立場から問題解決を図るための対応ができる 【学びに向かう力、人間性等】 生活の中から課題を見だし計画を立てて問題の解決をはかる。職業労働と家事労働の様々な問題解決について考えを深める。	ホームプロジェクト」の意義と実践方法 生涯発達する自分 青年期を生きる キャリアの形成 ワークライフバランスを求めて	【知識・技能】 ライフステージ、生涯発達、青年期の特徴を理解し自立とは何かを考えられたか。自分の目指すライフスタイルについて理解を深められたか。 【思考力、判断力、表現力等】 自分の生き方についての課題を解決するために思考・判断ができたか。男女平等の立場から問題解決を図るための対応ができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 職業労働と家事労働、ワークライフバランスなどの様々な問題解決について考えを深められたか。	○	○	○	6
	【知識及び技能】 現代の家族・家庭の課題を経済や制度など社会の変化と関連付けて理解する。家族に関する法律や社会制度を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 家族・家庭・世帯の変化及び家族の法律・制度の変化について社会的要因を考察する 【学びに向かう力、人間性等】 自分自身がどのような家族・家庭を築きたいか、人生設計を含めて考えを深める。	家族・家庭・世帯 家族・家庭の働き パートナーと出会う 結婚と変化する家族 家族に関する法律	【知識・技能】 現代の家族・家庭の課題を経済や制度など社会の変化と関連付けて理解できたか。家族に関する法律や社会制度を理解できたか。 【思考・判断・表現】 家族・家庭・世帯の変化及び家族の法律・制度の変化について社会的要因を考察することができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分自身がどのような家族・家庭を築きたいか、人生設計を含めて考えを深めることができたか。	○	○	○	8
1 学	中間考査						

下 期	<p>【知識及び技能】</p> <p>妊娠・出産及び子どもの心身の発達過程を理解し、子どもの生活・保育環境と親の役割の必要性、子育て支援について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>子どもを産み育てることの意義について理解し、子育てにおいて何が大切であるかを判断できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>子どもを育てる時どのような考え方で臨むか、子育てにはどのような課題があるかについて積極的に取り組もうとする。</p>	<p>命の始まり 乳幼児の体の発達 乳幼児の心の発達 子と親の関わり 乳幼児の生活と安全 子どもの成長と遊び 地域社会と子育て支援 未来を担う子どもの権利</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>妊娠・出産及び子どもの心身の発達過程を理解し、子どもの生活・保育環境と親の役割の必要性、子育て支援について理解できたか。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>子どもを産み育てることの意義について理解し、子育てにおいて何が大切であるかを判断できたか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>子どもを育てる時どのような考え方で臨むか、子育てにはどのような課題があるかについて積極的に取り組もうとしたか。</p>	○	○	○	6
	<p>【知識及び技能】</p> <p>高齢化により、家庭生活や社会生活に起こる様々な課題を理解するとともに、高齢者への社会的支援にはどのようなものがあるか理解できる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>高齢化が進んでいる実態を把握し、その原因と課題を探るとともに、やがて来る高齢社会のあるべき姿を思考・判断できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>「誰でもやがて年をとる」という視点から高齢化を自分自身の問題として捉え、意欲的に取り組む姿勢を養う。</p>	<p>超高齢社会を生きる 人生の中で高齢期をとらえる 高齢期の生活 高齢社会を支える 充実した高齢期へ 社会保障制度と社会的連帯 人の多様性と社会参加</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>高齢化により、家庭生活や社会生活に起こる様々な課題を理解し、高齢者への社会的支援にはどのようなものがあるか理解できたか。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>高齢化が進んでいる実態を把握し、その原因と課題を探るとともに、やがて来る高齢社会のあるべき姿を思考・判断できたか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>「誰でもやがて年をとる」という視点から高齢化を自分自身の問題として捉え、意欲的に取り組む姿勢が養うことができたか。</p>	○	○	○	6
期末考査							
1学期配当時間計							26
第3節 食生活の安全のために 第4節 食生活をデザインする	<p>【知識及び技能】</p> <p>健康的な生活を送るための食生活についての知識や、栄養素の働きを理解する。現代の食生活の変化について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>資料をもとに食生活がどのように変化してきたかを読み取り、持続可能な食生活に活かす判断ができる</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>自身の食生活を振り返り、適切に栄養摂取ができるようにする。また食生活の改善を積極的に行う姿勢を養う。</p>	<p>私たちと食事 健康に配慮した食事 食生活の変化 持続可能な食生活 人体と栄養 炭水化物 脂質 たんぱく質 無機質 ビタミン 嗜好食品と健康贈心のための食品</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>健康的な生活を送るための食生活についての知識や、栄養素の働きを理解できたか。現代の食生活の変化について理解できたか。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>資料をもとに食生活がどのように変化してきたかを読み取り、持続可能な食生活に活かす判断ができたか。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>自身の食生活を振り返り、適切な栄養摂取ができていないか、また食生活の改善を積極的に行う姿勢を養うことができたか。</p>	○	○	○	6
	<p>【知識及び技能】</p> <p>食品を選択する知識を身につけ、食事摂取基準や食品群によるバランス診断を理解する。調理実習により技術を習得する</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>問題意識を持って調理実習に臨み、栄養バランス・おいしさ・食べやすさの面で適切に思考・判断ができる。</p>	<p>食品の選択と保存 食品の安全と衛生 栄養バランスの良い食事 食品群と摂取量の目安 ライフステージと食事 献立作成の手順 調理の基本 調理実習</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>食品を選択する知識と食事摂取基準や食品群によるバランス診断が理解できたか。調理実習により技術を習得することができたか。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>問題意識を持って調理実習に臨み、栄養バランス・おいしさ・食べやすさの面で適切に思考・判断ができたか。</p>	○	○	○	10

2 学期		【学びに向かう力、人間性等】 食品の栄養的特性や加工・調理について関心を持ち意欲的に取り組むことができる。		【主体的に学習に取り組む態度】 食品の栄養的特性や加工・調理について関心を持ち意欲的に取り組むことができたか。					
	中間考査								
	衣生活をつくる～人の一生と被服被服材料と管理 これからの衣生活	【知識及び技能】 衣生活の充実・向上のための基礎的・基本的な知識を身につけるとともに、被服材料、被服管理を理解する。被服実習により技術を習得する。 【思考力、判断力、表現力等】 被服を長く使い続けるために被服管理や修繕方法が適切に判断できる。 【学びに向かう力、人間性等】 伝統的な衣文化の特徴を理解し、これからの豊かな衣生活の創造に向けて積極的に行動ができる。	私たちと衣服 被服の性能～保健衛生上の機能 被服の機能～社会生活上の機能 被服の選び方 被服の素材 洗濯方法と表示 被服の手入れと保管 衣生活の継承と創造 持続可能な衣生活	【知識・技能】 衣生活の充実・向上の基礎的・基本的な知識を身につけ、被服材料・管理が理解できたか。被服実習により技術を習得できたか。 【思考・判断・表現】 被服を長く使い続けるために被服管理や修繕方法が適切に判断できたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 伝統的な衣文化の特徴を理解し、これからの豊かな衣生活の創造に向けて積極的に行動ができたか。	○	○	○		8
住生活をつくる～人の一生と住まい 住生活の設計と選択	【知識及び技能】 住まいの機能を理解し、現代の住生活の特徴を説明できる。住空間の設計や部屋作りに関する基礎的・基本的な知識を身につけている。 【思考力、判断力、表現力等】 平面図記号を読み取り、どのような間取りかを判断することができ、自分の住みたい物件を探すことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ライフステージに合った快適な住まいを追求し、住生活の充実・向上に意欲的に取り組むことができる。	私たちと住まい 平面図の活用 長く住み続けるために 生涯を見通した住まいの工夫 快適で健康な住まい 安全で安心な住まい 持続可能な住まい 住まいと地域社会のかかわり	【知識・技能】 住まいの機能や現代の住生活の特徴を理解し、住空間の設計や部屋作りに関する基礎的・基本的な知識を身につけられたか。 【思考・判断・表現】 平面図記号を読み取り、間取りを判断することができたか。自分の住みたい物件を探すことができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ライフステージに合った快適な住まいを追求し、住生活の充実・向上に意欲的に取り組むことができたか。	○	○	○		6	
期末考査									
2学期配当時間計									30
3 学期	6	政府・企業・家計の経済的な関わり及びそれぞれの役割をを理解し、家庭経済及び国民経済の基本的な仕組みを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 家計収支のバランスを取る事の大切さ、可処分所得の意味について思考を深め、適切に判断する能力を身につける。 【学びに向かう力、人間性等】 自分の将来について関心を持ち、その充実・工場をめざして、生活設計、経済設計を実践する態度を身につける。	人生とお金 収入と支出のバランス 将来の経済生活を考える 契約とは 消費者問題はなぜ起こるのか 多様化する支払い方法とリスク防止	【知識・技能】 政府・企業・家計の経済的な関わりと役割を理解し、家庭経済及び国民経済の基本的な仕組みを理解できたか。 【思考・判断・表現】 家計収支のバランスの大切さ、可処分所得について思考を深め、適切に判断する能力を身につけられたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の将来について関心を持ち、その充実・工場をめざして、生活設計、経済設計を実践する態度を身につけたか。	○	○	○		8
		【知識及び技能】 消費者としての必要な知識、と価値観を身につけ、日常生活の中で消費生活の向上をめざして工夫することができる。		【知識・技能】 消費者としての必要な知識、と価値観を身につけ、日常生活の中で消費生活の向上をめざして工夫することができたか。					

消費者問題を考える 持続可能な社会をめざして	【思考力、判断力、表現力等】 問題商法によるトラブルの原因を探り、課題を明らかにして適切な判断により解決策を見いだせる。	消費者の自立と行政の支援 消費生活と持続可能な社会 消費者市民社会をめざして	【思考・判断・表現】 問題商法によるトラブルの原因を探り、課題を明らかにして適切な判断により解決策を見いだせたか。	○	○	○	6	
	【学びに向かう力、人間性等】 消費者としての権利と責任について、明確な認識をもち、日常生活の中で課題意識を持って実践的に取り組む。		【主体的に学習に取り組む態度】 消費者としての権利と責任について、明確な認識を持ち、日常生活の中で課題意識を持って実践的に取り組むことができたか。					
学年末考査								
							3学期配当時間計	14
							年間配当時間計	70

授業外での学習・講習・特別考査等

特別考査(春) 実施範囲等	1学期実力テスト 実施範囲等	夏季休業期間	特別考査(夏) 実施範囲等	2学期実力テスト 実施範囲等	冬季休業期間	特別考査(冬) 実施範囲等	3学期実力テスト 実施範囲等
なし	なし	ホームプロジェクト等	なし	なし	なし	なし	なし

都立新宿高等学校 令和6年度(2024年度) シラバス

教科:	総合的な探究の時間		科目名:	総合的な探究の時間		講座名:	総合的な探究の時間	
年次:	2年次	単位数:	1	区分:	必修	形態:	クラス単位	
使用教科書・補助教材:	課題研究Start book							
教科担当者:	細谷、横田、竹内、桑波田、奥村、田久保、加倉井、羽賀							

科目(講座)の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
<ul style="list-style-type: none"> 与えられたテーマから、簡単に答えの出ない問いを導くことができる 問いに基づいて適切な仮説を立てることができる スライドやポスター作成の発表における基本的な技能を見につける 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な資料から信頼できる情報を収集し、自分の思い込みを排し客観的な結論を導くことができる スライドショーやポスターセッションで、探究した内容をわかりやすく他者に伝えることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 他者と協働して探究活動を計画的に行うことができる 自分の希望進路・興味がある分野における課題解決に向けて主体的に取り組むことができるようになる

日常の学習方法

ワークシートを利用し、各クラスのグループ単位で活動を行う。

履修上の注意(発展科目との関連)

--

年間授業計画

単元名	具体的な指導目標	指導項目・内容(領域)	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学期	【知識及び技能】 ・課題研究について理解を深める ・思考ツールを身につける ・リサーチクエスションの深め方を学ぶ 【思考力、判断力、表現力等】 ・興味があるキーワードについてマインドマップやロジックツリーを用いて構造的に言語化することができる 【学びに向かう力、人間性等】 課題解決に向けて、他人と協働することができる	課題研究のノウハウを身に付け、テーマ設定および個人探究・グループ探究を決定する ・課題研究メソッド2ndeditionおよびclassi noteを活用したアクティブラーニング形式での演習	【知識・技能】 ・課題研究の特徴を知る ・リサーチクエスションを設定する際にマジックワードを避ける 【思考・判断・表現】 ・興味がある分野についてシンキングツールを用いてしっかり自分の言葉で言語化できているか 【主体的に学習に取り組む態度】 課題解決に向けて、他人と協働することができるか	○	○	○	8	
	中間考査							
	・興味がある分野からリサーチクエスションを導き出す ・オンラインでの研究室訪問で探究に関する質問をする 【知識及び技能】 ・興味関心に基づいたリサーチクエスションを立てることができる 【思考力、判断力、表現力等】 ・テーマについて問いを立て、掘り下げて考えることができる 【学びに向かう力、人間性等】 ・自ら立てたテーマに積極的に取り組み、探究内容について質問し、学びを深めることができる	・NDC(日本十進法分類法)に基づいてテーマ設定をおこなう ・興味があるテーマから具体的なリサーチクエスションを導き出す	【知識・技能】 ・リサーチクエスションを立てることができるか 【思考・判断・表現】 ・テーマについて問いを立て、掘り下げて考えることができるか 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自ら立てたテーマに積極的に取り組み、探究内容について質問し、学びを深めることができるか	○	○	○	5	
期末考査								
1学期配当時間計							13	

